



MOT/Phone V6 対応版マニュアル

操作・設定ガイド

4. 1 版

株式会社オフィス24

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。

本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆ 本書および本製品の全部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 『Windows® Vista、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10』は 米国 Microsoft Corporation の商品名称または登録商標です。
また、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

1.はじめに（各種ボタンの概要説明）	4
1-1. MOT/Phone 概要	4
1-2. USB Phone 概要	5
1-2-1 [HCU-205HT]概要	5
1-2-2 [Calisto P240]概要	6
1-3. 構成ウィンドウ	7
2.アプリのインストール	8
2-1. インストーラの起動と必要ファイルをインストールする	8
■ インストーラの起動	8
■ 必須コンポーネントのインストール	8
■ 必須コンポーネントが正常にインストールできなかった場合	9
2-2. MOT/Phone 本体をインストールする.....	12
3.初期設定	14
3-1. 初期設定（使用する USB Phone が HCU-205HT・Calisto P240 の設定）	14
■ 設定画面	14
■ PC 設定	15
3-2. 設定画面の各項目説明	17
4.操作方法	22
4-1. 起動と終了	22
■ 初回起動	22
■ 終了と最小化	22
4-2. 発信から切断.....	23
4-3. 着信から保留、転送	24
4-4. パーク保留	26
5.各種機能の設定方法	27
5-1. 電話番号情報を設定する	27
5-2. パーク保留機能を設定する	28
5-3. アカウントを複数設定する・切り替える	29
5-4. 利用するポート番号を設定する	30
5-5. 接続先（PBX）の設定を行う	31
5-5-1 サーバ手動設定（POPUP 連動なし）	31
5-5-2 サーバ手動設定（POPUP 連動あり）	32
5-5-3 MOT/TEL 設定（POPUP 連動あり）	34
5-6. 発信/着信優先設定を行う	36
5-7. 通話切断音の時間を変更する	37
5-8. 着信時にディスプレイの最前面に表示する	38
5-9. アプリの外観を変更する	39
5-10. 音声デバイス（USBPhone や PC スピーカー）設定を変更する	40

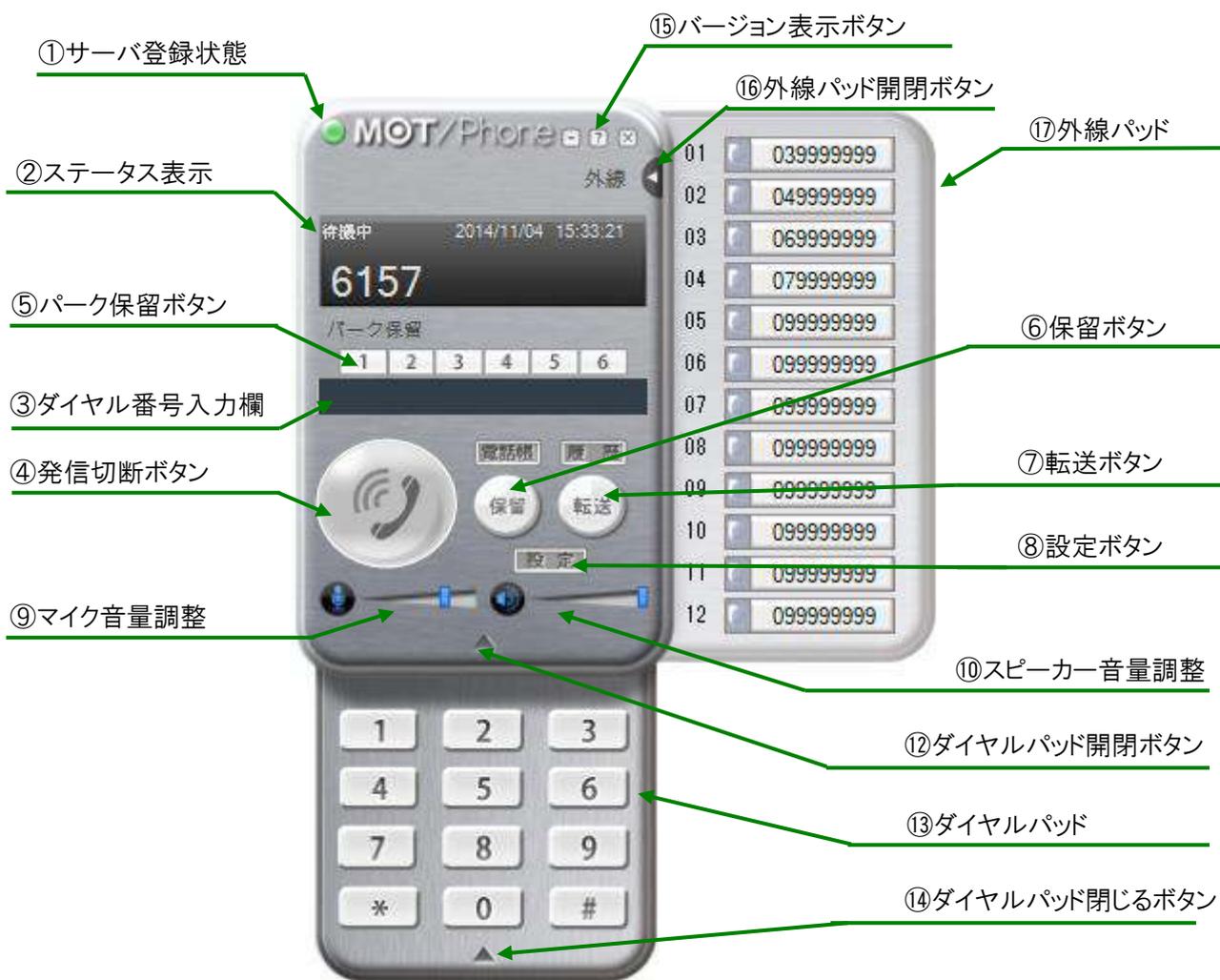
5-11.内線/外線着信時の鳴動音を変更する.....	41
5-12.パソコン本体から流れる着信鳴動音を変える.....	42
5-13.ラインボタンの割り付けを行う.....	43
5-14.外線着信時にラインボタンを自動的に表示する.....	45
5-15.ラインボタンの初期表示状態を決める.....	46
5-16.アプリの自動アップデートを有効にする.....	47
5-17.ラインボタンから留守電機能を利用する.....	48
5-18.ワンタッチダイヤルを利用する.....	51
5-19.通訳サービスの利用をする.....	53
5-20.ラインボタンから不在着信拒否機能を利用する.....	55
5-21.正常に動作しない場合にファイアウォールの設定を変更する.....	57
5-22.正常に動作しない場合に Windows のデータ実行防止を設定する。.....	59
6.外部アプリケーションとの連携方法.....	60
7.右クリック呼出機能の利用方法.....	61
7-1. ブラウザ毎のインストール方法.....	61
7-2. 右クリック発信の利用方法.....	63
8.仕様.....	64
■ ソフトフォン推奨動作環境.....	64
■ 提供機能.....	64
■ USBPhone 仕様.....	65

1.はじめに（各種ボタンの概要説明）

1-1. MOT/Phone 概要

MOT/Phone は、ポップアップクライアント、MOT/PBX と連携して利用する専用ソフトフォンです。
PC内に本ソフトをインストールする事で MOT/PBX の内線端末として利用する事が出来ます。
本説明書は、MOT/Phone の機能と操作方法につきまして説明します。

◆MOT/Phone ウィンドウの説明



◆ボタン説明

④発信切断ボタン



:ダイヤル待ち



:発信待ち



:切断待ち

⑥保留ボタン



:保留なし



:保留中

⑦転送ボタン



:保留待ち



:転送待ち

⑤パーク保留ボタン



:空きボタン

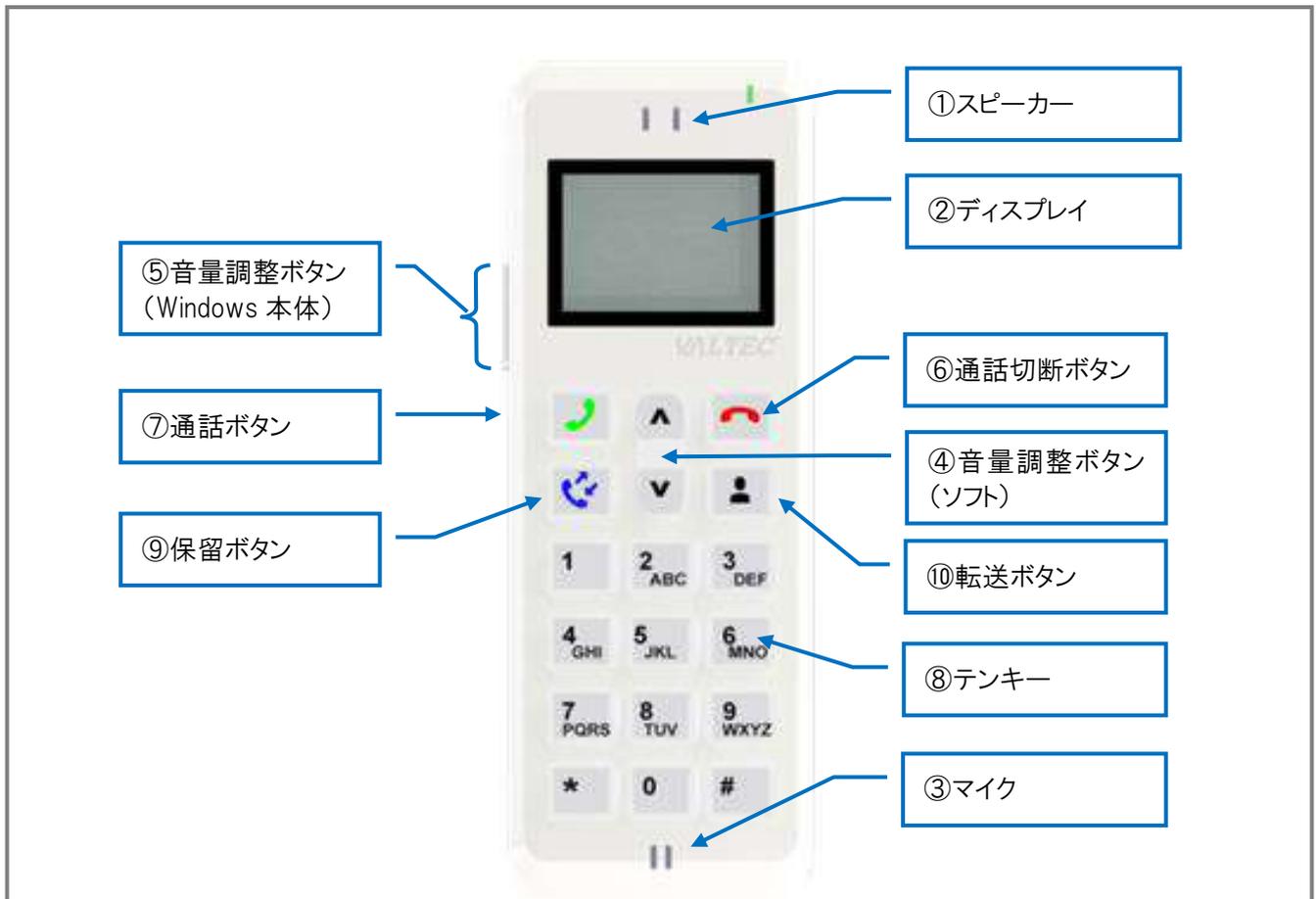


:パーク保留中

※表示イメージ等、本書の内容は事前の告知なく変更される場合がございます事、ご了承願います。

1-2. USB Phone 概要

1-2-1 [HCU-205HT]概要



項目	機能説明
① スピーカー	相手の音が聞こえます。
② ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・「年月日時刻曜日」が表示されます。 ・着信時には相手番号が表示されます。
③ マイク	音声を拾います。
④ 音量調整ボタン (ソフト)	ボタン操作することで鳴動音、及び受話音量を変更します。
⑤ 音量調整ボタン (Windows 本体)	ボタン操作することで受話音量を変更します。 ※音量は Windows PC 本体デバイスの音量を調整します。
⑥ 通話切断ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・通話中に押す事で通話を切断します。 ・ダイヤル中に押下する事で番号を1文字消去出来ます。
⑦ 通話ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・テンキーでダイヤルした後、押す事で発信します。 ・着信中に押す事で着信できます。
⑧ テンキー	1～0、*、#ボタン ・通話中に押下するとプッシュ信号を送出します。
⑨ 保留ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・通話中に押下することで、自己保留することができます。 ・保留中に押下すると保留解除し通話中に戻ることが出来ます。
⑩ 転送ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・⑨の保留ボタンを押下後に、転送先番号を入力し、転送ボタンを押下することで保留呼を転送先に転送することができます。 ・通話中に転送ボタン+テンキー(1から6)を押下することで、パーク保留を行うことができます。また、待機中に同操作を行うことでパーク保留呼を捕捉し通話することができます。 ※パーク保留呼操作は PBX の設定が必須になります。

1-2-2 [Calisto P240]概要



項目	機能説明
① スピーカー	相手の音が聞こえます。
② ディスプレイ	・「年月日時刻曜日」が表示されます。 ・着信時には相手番号が表示されます。
③ マイク	音声を拾います。
④ 音量調整ボタン	通話中にボタン操作することで受話音量を変更します。 ※音量は Windows OS 側の音量を調整します。
⑤ ミュートボタン バックスペース	・此方側の音を相手に聞こえなくします。(マイクミュート) ・ダイヤル中に押下する事で番号を1文字消去出来ます。
⑥ 通話切断ボタン	・通話中に押す事で通話を切断します。
⑦ 通話ボタン	・テンキーでダイヤルした後、押す事で発信します。 ・通話中に押す事で保留の ON/OFF ができます。
⑧ テンキー	1～0、*、#ボタン通話中に押す事でプッシュ信号を送出します。
⑨ メニュー	保留(通話中)、発信履歴(通話時以外)、ハンドセット音量調整、ハンズフリー音量調整、鳴動音音量調整、鳴動音 ON/OFF、言語設定(日本語は未対応)
⑩ ハンズフリーボタン	着信中に押す事によりスピーカー状態で応答することが出来ます。通話中にハンズフリー、通常通話の切替えも行う事が出来ます。 ※ハンズフリーでの集音可能範囲は半径 1.2M 以内です。

1-3. 構成ウィンドウ

MOT/Phone POP-UP は以下のウィンドウで構成されます。

着信ポップアップは、Windows 版 MOT/Phone と連携し以下の機能を提供します。

1. 着信時ポップアップ表示 もしくは、通話応答時ポップアップ表示
2. 電話帳/通話履歴表示
3. 前回通話内線表示
4. 電話受付ボタン押下による CTI 連動（ポップアップを非表示にして外部ウィンドウ表示も可能）



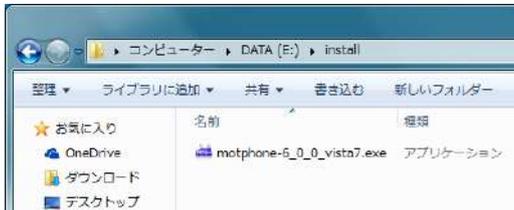
	説明
MOT/Phone	本紙で説明するソフトフォン
MOT/Phone POP-UP	MOT/Phone と連携して動作する着信ポップアップウィンドウ

MOT/Phone POP-UP についての詳細は別紙をご参照ください。

2. アプリのインストール

2-1. インストーラの起動と必要ファイルをインストールする

■ インストーラの起動

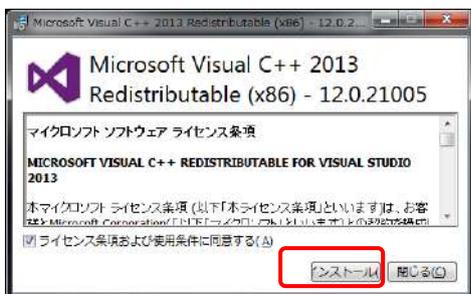


1. .MOT/Phone 用のインストーラ exe を入手しパソコン上に置きます。
2. インストーラをダブルクリックすると、MOT/Phone セットアップウィザードが表示されます。

■ 必須コンポーネントのインストール

MOT/Phone 本体インストール前に、インストーラ起動前に必要コンポーネントのインストールを促すメッセージが出力されます。すでにインストールされている場合はインストールを行う必要はありません。

(1) Visual Studio 2013 Visual C++ 再頒布可能パッケージのインストール



インストールが正常に完了しなかった場合、MOT/Phone のインストールは行わないでください。その場合は次項の手順でアンインストールを実施してください。

Visual Studio 2013 Visual C++ 再頒布可能パッケージのインストールが正常に完了しなかった場合、MOT/Phone が正常に起動できないため、次項の手順で Visual Studio 2013 Visual C++ 再頒布可能パッケージをアンインストールし、MOT/Phone のインストーラを再起動してください。

(2) Microsoft .NET Framework 4.5 のインストール

(注意) OS: Windows 8/8.1 の場合、Microsoft .NET Framework 4.5 が標準でインストールされています。また、インストールは行わないでください。



インストールが正常に完了しなかった場合、MOT/Phone のインストールは行わないでください。その場合は次項の手順でアンインストールを実施してください。

Microsoft .NET Framework 4.5 のインストールが正常に完了しなかった場合、MOT/Phone が正常に起動できないため、次項手順で Microsoft .NET Framework 4.5 をアンインストールし、MOT/Phone のインストーラを再起動してください。

■ 必須コンポーネントが正常にインストールできなかった場合

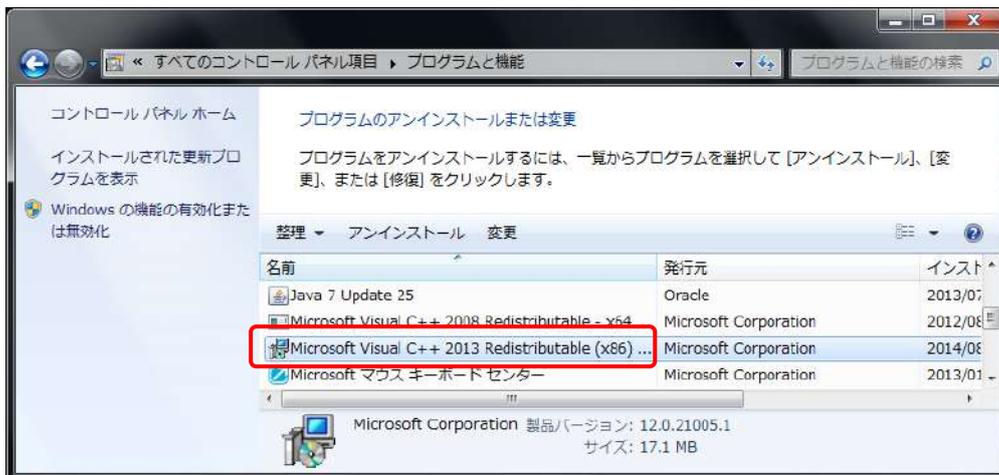
(1) Visual Studio 2013 Visual C++ 再頒布可能パッケージのアンインストール

正常にインストールが行われなかった場合は、以下手順で一度アンインストールを実施し、再度インストールを行ってください。

- ① 「コントロールパネル」を開きます。
- ② 「プログラムのアンインストール」を開きます。



- ③ 一覧に「Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86)」がある場合は右クリックし、「アンインストール」を選択します。



- ④ 「アンインストール」を選択します。



(2) Microsoft .NET Framework 4.5 のアンインストール

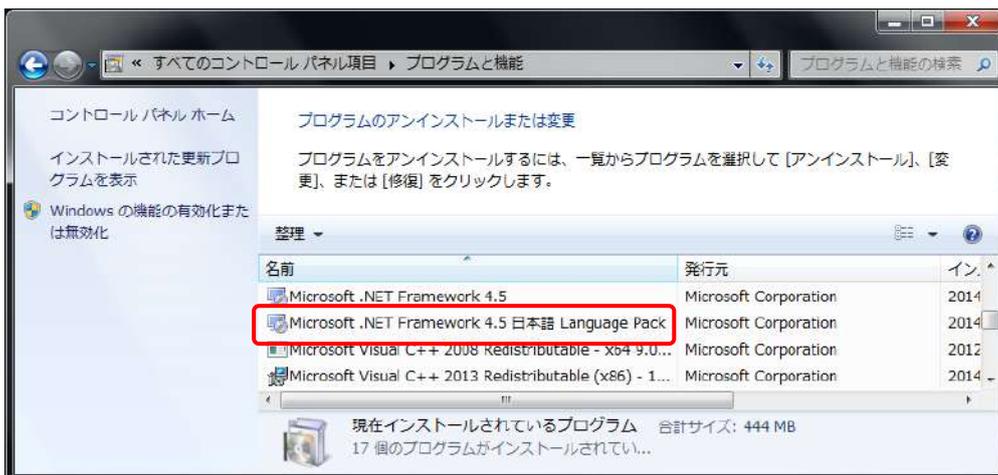
正常にインストールが行われなかった場合は、以下手順で一度アンインストールを実施し、再度インストールを行ってください。

この手順は、MOT/Phone のインストーラを起動した後に、Microsoft .NET Framework 4.5 のインストーラが起動されインストールが正常に完了しなかった場合に実行してください。

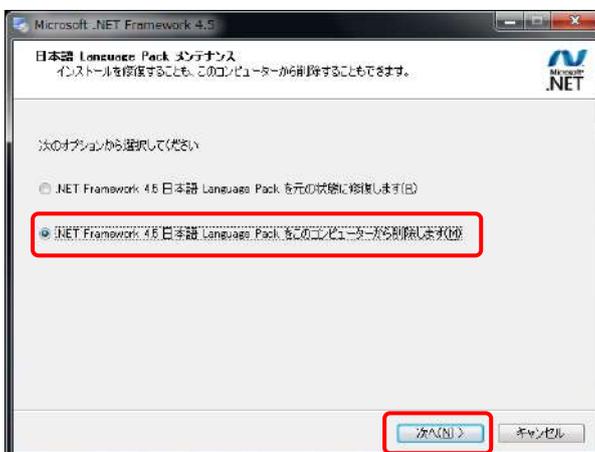
- ① 「コントロールパネル」を開きます。
- ② 「プログラムのアンインストール」を開きます。



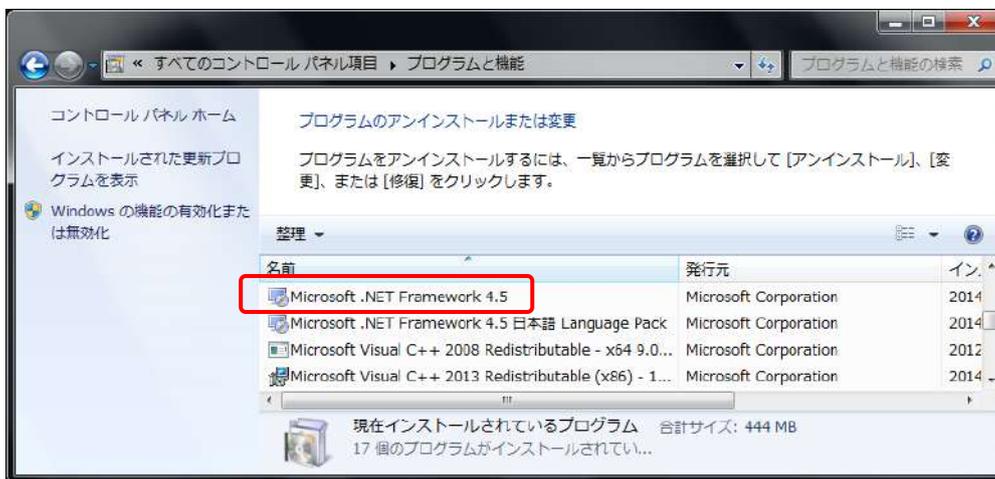
- ③ 一覧に「Microsoft .NET Framework 4.5 日本語 Language Pack」がある場合は右クリックし、「アンインストールと変更」を選択します。



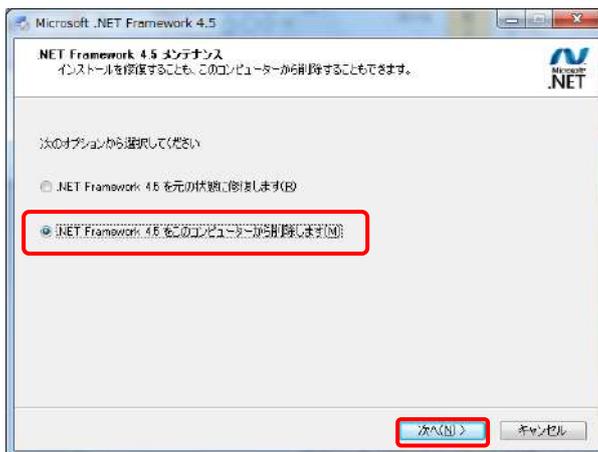
- ④ 「.NET Framework 4.5 日本語 Language Pack をこのコンピュータから削除します」を選択し、「次へ」を選択します。



- ⑤ 一覧に「Microsoft .NET Framework 4.5」がある場合は右クリックし、「アンインストールと変更」を選択します。



⑥ 「.NET Framework 4.5 をこのコンピュータから削除します」を選択し、「次へ」を選択します。

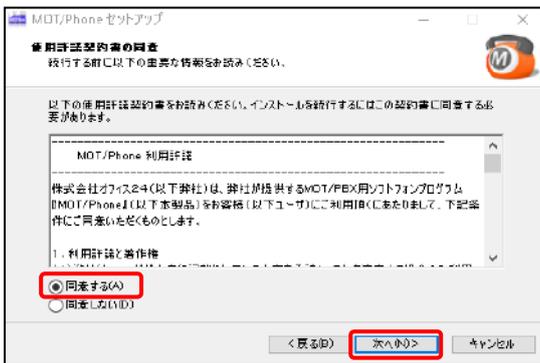


2-2. MOT/Phone 本体をインストールする

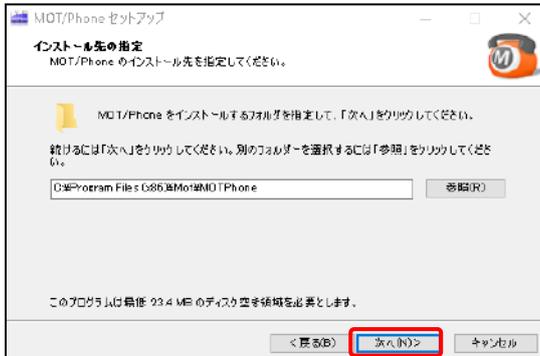
必要ファイルを事前にインストールしている状態が確認できましたら、次に MOT/Phone 本体をインストールします。



1. 旧バージョンの MOT/Phone が起動している場合はここで終了します。[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



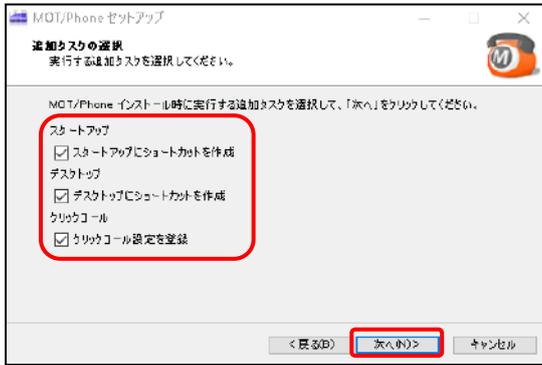
2. 利用許諾契約書を良くお読みください。
[同意する]を選択すると[次へ]がクリックできるようになります。
クリックするとセットアップを続行します。



3. MOT/Phone をインストールするフォルダを選択します。フォルダが存在しない場合自動的に作成されます。
[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



4. MOT/Phone のプログラムグループを設定します。
[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



- Windows 起動時に MOT/Phone を自動起動したい場合は[スタートアップにショートカットを作成]にチェックを入れます。デスクトップに起動用ショートカットを作成したい場合は[デスクトップにショートカットを作成]にチェックを入れます。クリックコールを MOT/Phone に設定する場合は[クリックコール設定を登録]にチェックを入れます。MOT/Phone インストール後も別アプリにてクリックコールを利用する場合はチェックを外します。設定後、[次へ]をクリックします。



- 設定を確認し、[インストール]をクリックします。



- インストールが完了しました。セットアップウィザード終了後にアプリケーションを起動したい場合は[MOT/Phone POP-UP を起動]にチェックを入れて[完了]をクリックします。

3. 初期設定

3-1. 初期設定（使用する USB Phone が HCU-205HT・Calisto P240 の設定）

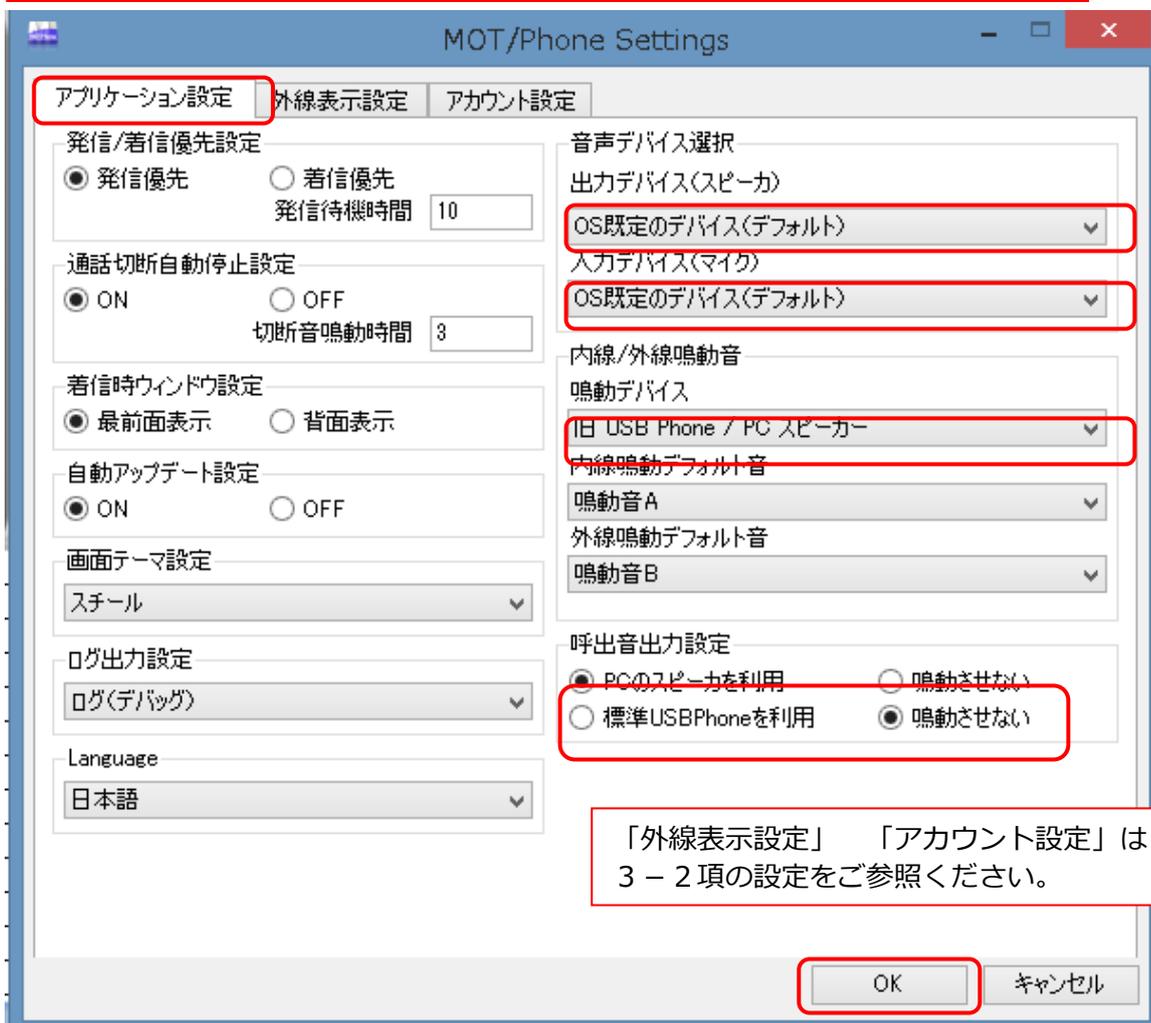


■ 設定画面

MOT/Phone が起動している状態において、[設定]ボタンを押すと設定ウィンドウが起動します。

設定ウィンドウの「アプリケーション設定」タブを選択します。

使用する USB-Phone が HCU-205HT、及び Calisto P240 の「アプリケーション設定」は必ず以下の設定でご利用ください。異なる設定をした場合鳴動音がありません。



■ PC 設定

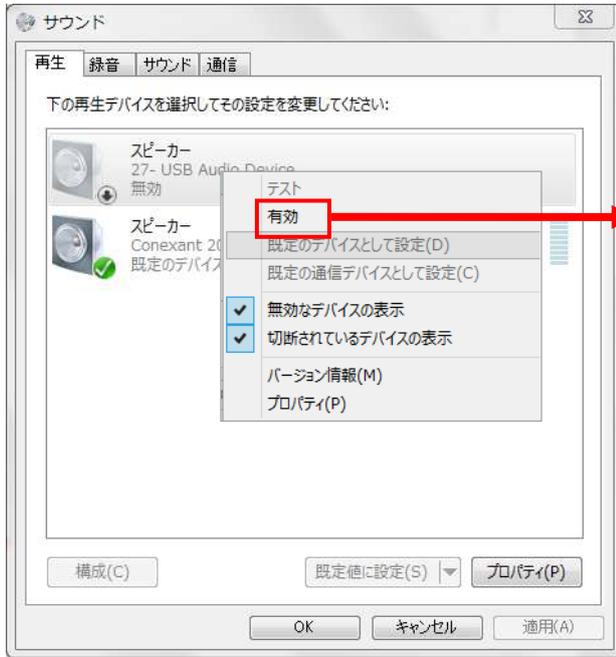
[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[オーディオデバイスの管理]

PC の音量デバイスも必ず以下の設定でご利用ください。

Windows10 以降の場合は設定→システム→サウンド→マイクのプライバシー設定にて

MOT/Phone アプリのマイクアクセスがオフの場合はオンにしてください。

① HCU-205HT の場合



再生、録音ともに[**XX(※)**—USB Audio Device]を有効にチェックし、既定の通信デバイスに設定
※XX 部分は使用している PC によって異なります



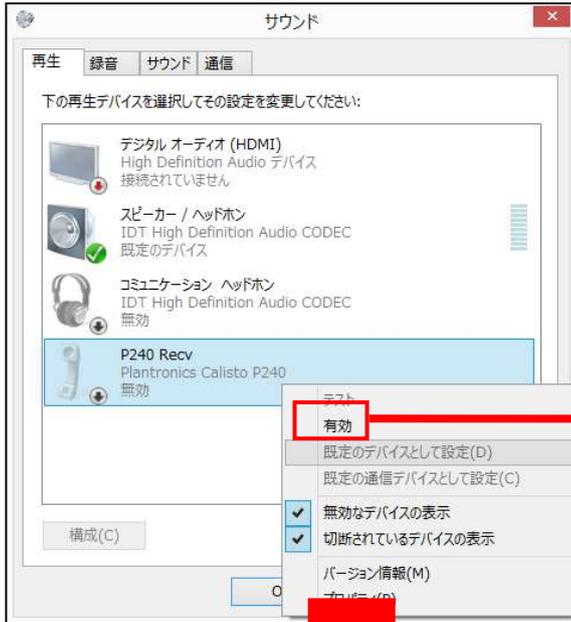
[再生]



[録音]



② Calisto P240 の場合



再生、録音ともに[P240 Recv]を有効にチェックし、既定の通信デバイスに設定

【再生】

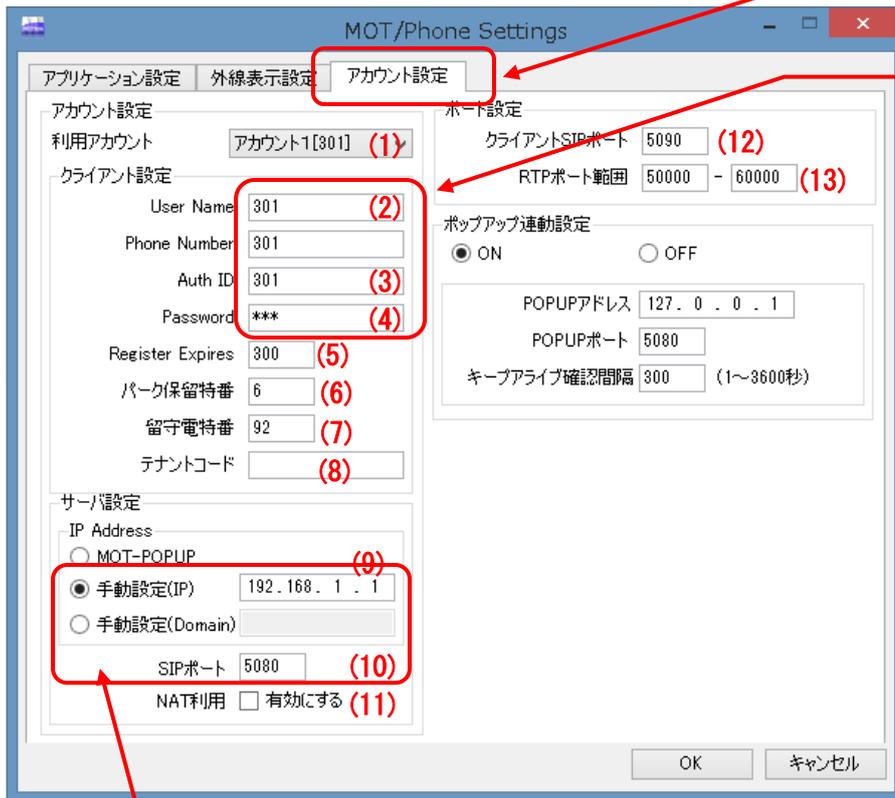


【録音】



3-2. 設定画面の各項目説明

本体の「設定」ボタンを押下し、設定画面を開きます。



1. アカウント設定タブを選択

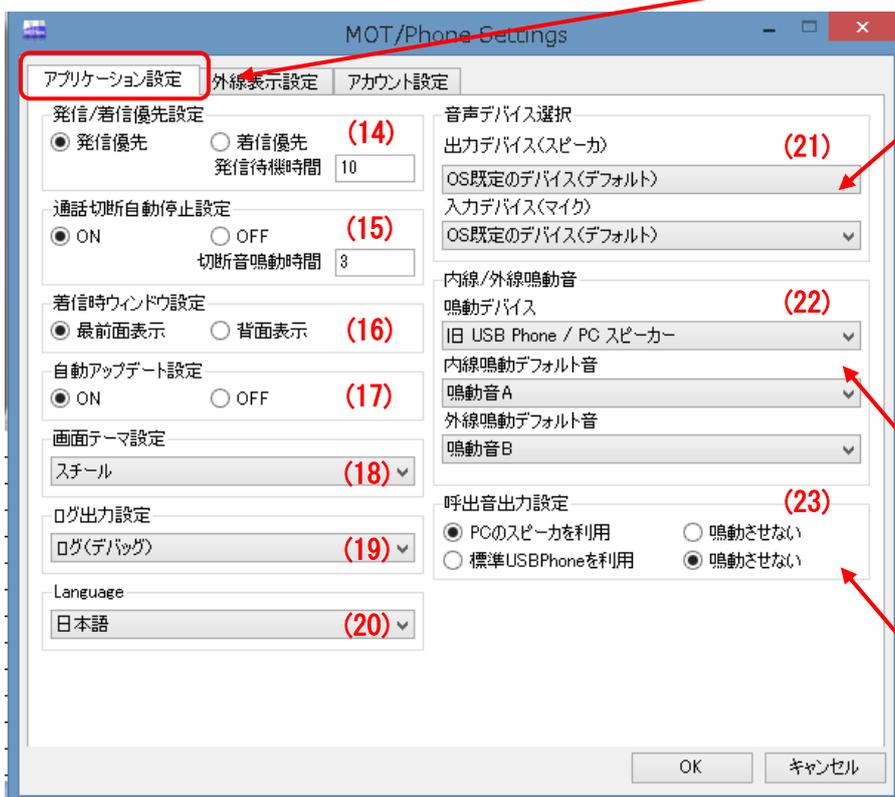
2. 番号設定を行います。
MOT/PBX 側より割り振られる「内線番号」を(2) UserName/ PhoneNumber、(3) Auth ID、「パスワード」を(4) Passwordに登録します。

※(4) のパスワードは内線番号と別なものへ変更して頂く事をお勧め致します。

また、MOT/PBX に設定されているパスワードと同じものを設定しないと正常に起動しないため、ご注意ください。

4. MOT/PBX の IP アドレスを入力し「SIP ポート」に 5060 を設定します。※MOT/PBX の MOT/PBX のユーザ画面利用時の IP と同じものとなります。

「アプリケーション設定」タブからは鳴動音、音声デバイスの設定等、動作にかかわる設定をおこないます。



5. アプリケーション設定タブを選択

6. (21) 音声デバイス選択よりご利用する USBPhone の名称を選択します。
※もしくは 3-1 項の設定をご参照ください。

7. (22) 内線/外線鳴動音設定より着信時の鳴動音を設定します。

8. (23) 呼出音出力設定より呼出音の出力デバイスを選択します。

「外線表示設定」タブからは、ワンタッチダイヤル等、ラインボタンの設定をおこないます。



9. (24)より外線番号を指定した着信時の鳴動音を設定します。

※外線番号を指定した着信時の鳴動音設定は、外線鳴動デフォルト音より優先されます。

10. [OK]ボタンを押したのち
アプリケーションの再起動
(×ボタンを押して起動)を
おこなうと設定が反映されます。

→(×ボタンを押して起動)を
(アプリケーションの×ボタンを
押し再起動)へ変更

■設定項目

No	項目	説明	初期値
1	利用アカウント	利用するアカウントを設定します アカウントは2個まで保存して切り替える事が可能です。	301
2	UserName /Phone Number	表示用ユーザ名(DisplayName)内線電話番号 ※同じ値を入力します。	301
3	AuthID	認証用ユーザ名※基本的には PhoneNumber と同値	301
4	Password	認証用パスワード※基本的には PhoneNumber と同値	301
5	RegisterExpires	MOT/Phone POP-UP(SIP サーバ)に接続する間隔	300
6	パーク保留特番	パーク保留で利用する番号	6
7	留守電特番	留守電機能で使用する番号	92
8	テナントコード	MOT/TEL を利用する際のテナントコードを入力します MOT/PBX を利用する場合は何も入力しません	
9	接続先設定	本ソフトの接続先を設定します。POPUP を経由しないで直接接続する場合は、そのアドレスを入力します。 ※POPUP を経由しない場合は幾つかの機能がご利用いただけませんのでご注意ください。	MOT-POPUP(初期値)
10	SIP ポート	MOT/Phone POP-UP(SIP サーバ)側の SIP ポート ※ポップアップ側の設定値と併せます。	5080
11	NAT 利用	NAT利用の際にチェックします MOT/TEL を使用する場合はチェックを入れます	
12	クライアント SIP ポート	自身で利用する SIP ポート	5090
13	RTP ポート利用範囲	RTP 通話に利用するポート番号の利用範囲	50000~60000

14	発信・着信優先設定	発信中に着信するか(着信優先)、発信中は着信を無視するか(発信優先)を選択します。 発信優先の場合にダイヤルしてから何秒間を発信中とみなすかを秒数設定します。	発信優先(10秒)
15	通話切断音 自動停止設定	通話終了後、自動でオンフックするかどうかと、自動切断と見なすまでの秒数を設定します。	ON(3秒後)
16	着信時ウィンドウ設定	着信した時のウィンドウを最前面に表示するか、裏に表示したままにするかを設定します。	最前面表示
17	自動アップデート設定	ソフト起動時にアップデートの確認を行います。	ON
18	画面テーマ設定	MOT/Phone の画面テーマを設定します。	スチール
19	ログ出力の設定	アプリケーションの動作ログを出力します。 万が一の異常時や正常に作動しない場合に、本設定を有効にしてログの出力をお願いする場合がございます。 出力しましたログはサポートセンターにご提出願います。	出力しない
20	Language	使用する言語を選択します	日本語
21	音声入出力デバイス	音声を出力する装置(スピーカー・ヘッドホン)、入力する装置(マイク)を選択します。 USB の選択を行った場合、違うポートに接続した場合は再度設定を行う必要がございます。	OS 既定のデバイス
22	内線/外線鳴動音	内線もしくは、外線から着信した際の鳴動音・鳴動音量を設定します。 (22)ラインボタン設定を行っている場合は、そちらの設定が優先されます。 ※ 旧 USBPhone から出力される鳴動音は変更できません。	
23	呼出音出力設定	着信した際の呼出音の設定を行います。 「PC のスピーカーを利用」 ……USB Phone 利用時に PC 側から着信音を鳴らします。 「標準 USBPhone を利用」 ……着信時に(18)、(22)の設定とは無関係に USBPhone から着信音を鳴らさない場合に選択します。	選択しない 選択する
24	登録ライン番号着信時 外線パッド表示設定	ラインボタンに設定した外線電話番号から着信した場合に、外線パッドを開きます。	ON
25	外線パッド表示状態保 存設定	外線パッドを開いた状態でアプリを終了した場合に、次の起動時に外線パッドを開きます。	ON
26	ラインボタン設定	各ラインボタンを設定します。 ライン番号には、外線側の電話番号を設定します。 ライン別鳴動音には、設定した番号に着信した場合の着信鳴動音を設定します。 ※旧 USB Phone から出力される鳴動音は変更できません。	
	OK ボタン	設定を確定します。	
	キャンセルボタン	設定を確定せずにウィンドウを閉じます。	

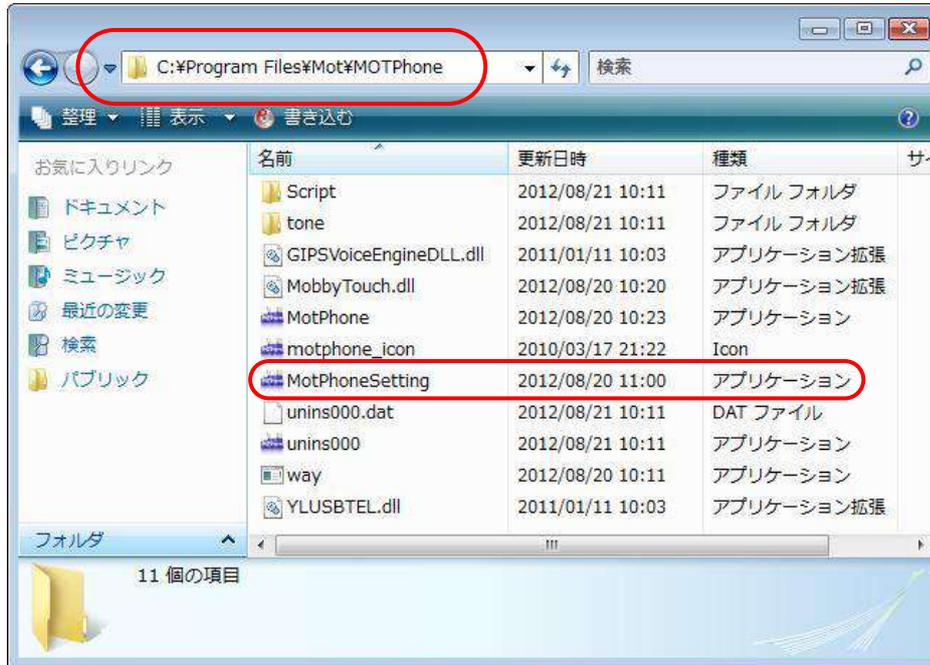
※Windows 7 以降をご使用の場合

設定用アプリケーションを管理者権限で実行する必要があります。

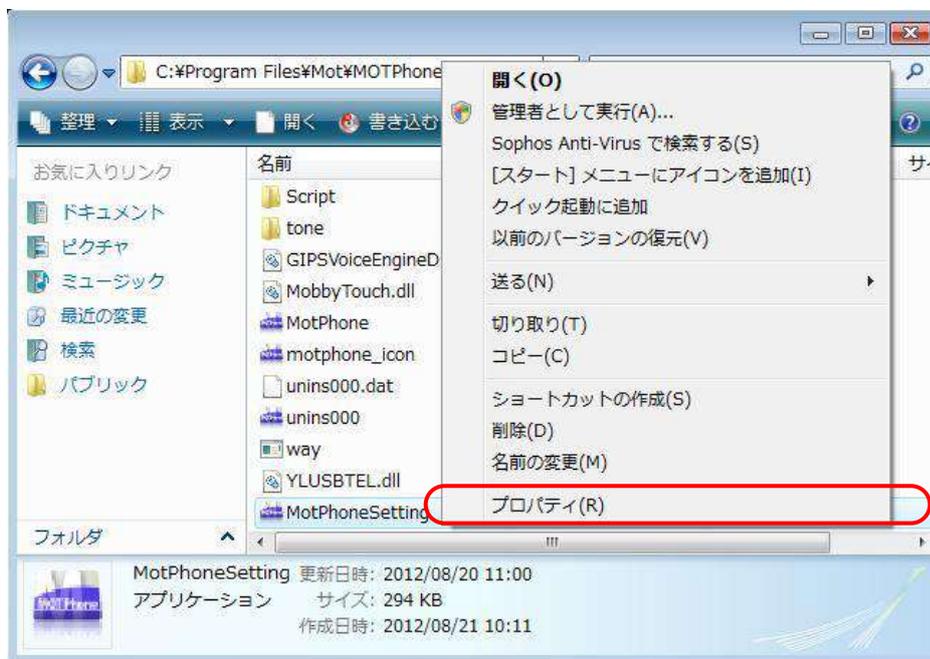
以下の手順で管理者権限を設定したのち、設定を行ってください。

1. エクスプローラで MOT/Phone をインストールしたフォルダを開きます。

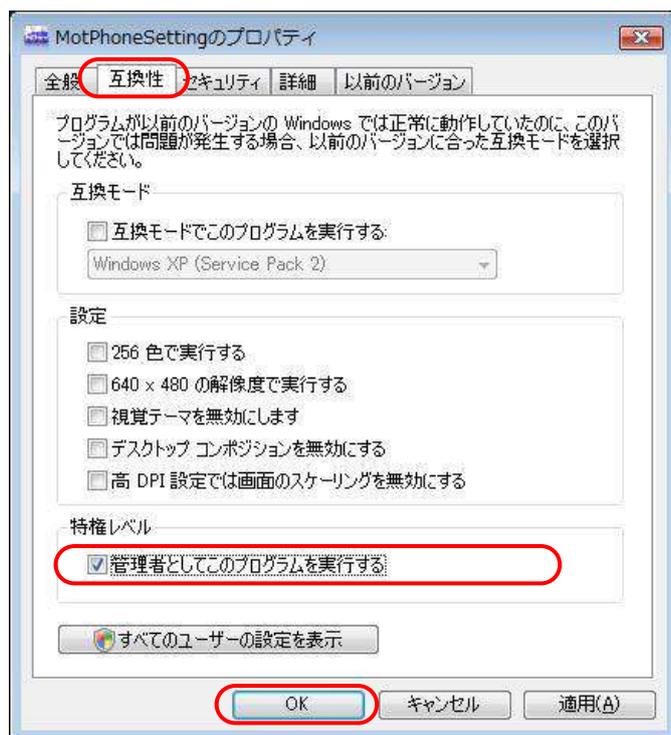
(デフォルトは¥Program Files¥mot¥Motphone となっております)



2. MotPhoneSetting.exe を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。



3. [互換性]タブを選択し、[特権レベル]の[管理者としてこのプログラムを実行する]にチェックを入れます。



4. [OK]ボタンを押して設定を保存します。
その後、MOT/Phone の画面から [設定]ボタンを押し、上記の要領で設定を行ってください。

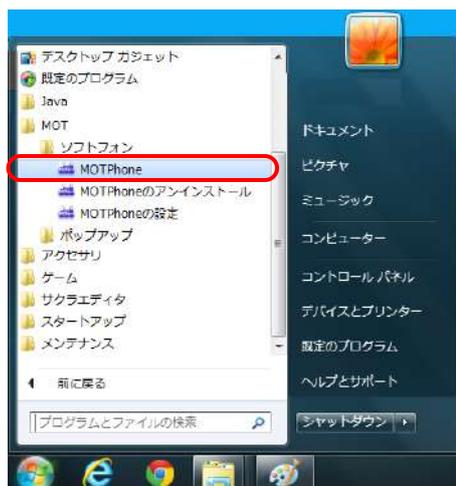
4. 操作方法

4-1. 起動と終了

■ 初回起動

MOT/Phone インストール時にスタートアップ登録した場合は自動起動します。

スタートアップ登録していない場合は、以下[スタート][すべてのプログラム][MOT][ソフトフォン]の中より[MOT Phone]をクリックしてください。



※Windows 7 の例

■ 終了と最小化

MOT/Phone を終了、または最小化する場合は、ソフトフォン画面の右上のボタンをクリックしてください。



起動時にエラーが出力される場合は、必要なファイルがインストールされていないか、実行に必要な権限が割り当てられていない場合がございます。必要ファイルがインストールされた後もエラーが出力される場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

4-2. 発信から切断

■発信

- (1) MOT/Phone が起動している状態でダイヤルパッドもしくは、USB Phone から電話番号をダイヤルします。
ステータスは[待機中]と表示されます。
- (2) ダイヤルすると  ボタンが、緑ボタンに変わり、 ボタンを押す事で発信します。
- (3) 通話が開始されるとステータスが[通話中]に変わり  ボタンが  ボタンになります。



■切断

- (4)  ボタンを押すと通話を切断します。

■USB Phone からの操作

- (1) USB Phone を利用する場合の発信は、電話番号をダイヤル後、通話ボタンを押します。
※USB Phone のディスプレイに入力した番号が表示されます。
※Calisto P240 は入力中の番号は表示されませんのでご注意ください。
- (2) 通話を切断する場合は、通話切断ボタンを押します。

4-3. 着信から保留、転送

■着信

(1) MOT/Phone が起動している状態で着信するとボタンが  緑色 と  橙色の点滅に変わりディスプレイに発信者番号通知されます。ステータスは[着信中]と表示されます。

(2) この状態で  ボタンを押すと通話が開始され、 橙色となりステータスが[通話中]となります。

※ CPU の負荷によっては鳴動音の間隔が不安定になることがございますが動作上影響ございません。



■保留

(3) 通話中に  ボタンを押すと通話が保留されボタンが  に変わります。相手には保留音流れます。ステータスは[保留中]と表示されます。

(4) 保留を解除する場合は、再度  ボタンを押します。再度通話状態になります。



■保留転送

(5) 保留中に転送先の番号をダイヤルすると、 ボタンが  に変化し、転送可能状態となります。

(6) この時  ボタンを押すと転送先と通話状態となります。

※保留した相手には保留音が聞こえています。



(7) 転送先と通話状態で  ボタンを押すと転送を取り止め、保留中に戻ります。

(8) 転送先と通話状態で  ボタンを押すと通話が転送されます。

■電話帳を利用した保留転送

電話帳を使用し、保留転送を行うことも可能です。

(5) 上記(3)の保留中状態から「電話帳ボタン」を押します。

(6) 開いた電話帳から、転送先の名前をダブルクリックします。

(7) 転送先と通話後に切断をすると電話帳を利用した保留転送が完了します。

■保留転送 USB Phone からの操作

○HCU-205HT

■着信

着信中に  を押すと通話開始になります。

■保留

- (1) USB Phone から保留をする場合、通話中に  ボタンを1回押します。
- (2) 解除する場合は、再度  ボタンを1回押します。

■保留転送

- (1) 通話中に  ボタンを押すと相手が保留になります。
- (2) 転送先の番号をダイヤルして  (転送)ボタンを押します。
- (3) 転送先電話が呼出しされますので、相手が転送に応える場合は  ボタンを押して転送します。
- (4) 転送先が応答しない等、元の通話に戻る場合は、再度  (転送)ボタンを押します。

○Calisto P240

■着信

着信中に[通話ボタン]を押すと通話開始になります。[スピーカーボタン]を押すとハンズフリー通話が始まります。

※通話開始後にハンズフリー通話への切り替えも可能です。

■保留 (P240 USB Phone からの操作)

- (1) USB Phone から保留をする場合、通話中に  ボタンを2回押します。
- (2) 解除する場合は、再度  ボタンを2回押すか、 ボタンを1回押します。

■保留転送 (P240 USB Phone からの操作)

- (1) 通話中に「*8#」を押すと相手が保留になります。
※USB Phone 操作の場合、相手側にピツという音が鳴ります。
- (2) 転送先の番号をダイヤルして最後に「#」を押します。
- (3) 元の通話に戻る場合は、 ボタンを押します。
- (4) 電話が呼出しされますのでそれに対して  ボタンを押して応答します。

P240 ボタン配置図



4-4. パーク保留

■パーク保留

(1)通話中にパーク保留ボタン **1** を押すことにより通話中の電話を保留する事ができます。

(2)保留された通話は **1** のパークボタンとして表示され、別な電話機からピックアップする事が可能です。



■パーク保留 USB Phone からの操作

○HCU-205HT

(1)通話中に  ボタンを押し、引き続きパーク番号「1」～「6」を押すことでパーク保留ができます。

(2)パーク保留をとる場合は、待機中に  ボタンを押し、保留されているボタンの番号「1」～「6」を押すことでパーク保留をとることができます。

○Calisto P240

(1)通話中にパーク特番「*6」と保留するパーク番号「1」～「6」を押すことでパーク保留ができます。

※USB Phone 操作の場合、相手側にピツという音が鳴ります。

(2)パーク保留をとる場合はパーク特番「*6」と保留されているボタンの番号「1」～「6」を押すことで保留をとることができます。



ナカヨ電話機を利用している場合のパーク特番は「6」、それ以外の初期値は「*6」となります。

5. 各種機能の設定方法

5-1. 電話番号情報を設定する

■概要

ユーザ名、内線電話番号、認証 ID、パスワードを設定します。

通常、MOT/Phone Windows 版はこの設定を行うだけで利用可能になります。

■設定方法

(1)設定画面を開きます。

(2)「アカウント設定」タブを選択します。

(3)「クライアント設定」を設定します。

- ・User Name … 表示される名前(Display Name)です。通常は内線電話番号と同じです。
- ・Phone Number … 内線電話番号を設定します。
- ・Auth ID … 認証 ID を入力します。通常は内線電話番号と同じです。
- ・Password … パスワードを入力します。

(4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

MOT/Phone Settings

アプリケーション設定 外線表示設定 **アカウント設定**

アカウント設定

利用アカウント アカウント1[301]

クライアント設定

User Name 301

Phone Number 301

Auth ID 301

Password ***

Register Expires 300

パーク保留特番 6

留守電特番 92

テナントコード

サーバ設定

IP Address

MOT-POPUP

手動設定(IP) 192.168.1.1

手動設定(Domain)

SIPポート 5080

NAT利用 有効にする

ポート設定

クライアントSIPポート 5090

RTPポート範囲 50000 - 60000

ポップアップ連動設定

ON OFF

POPUPアドレス 127.0.0.1

POPUPポート 5080

キーブアラライブ確認間隔 300 (1~3600秒)

OK キャンセル

5-2. パーク保留機能を設定する

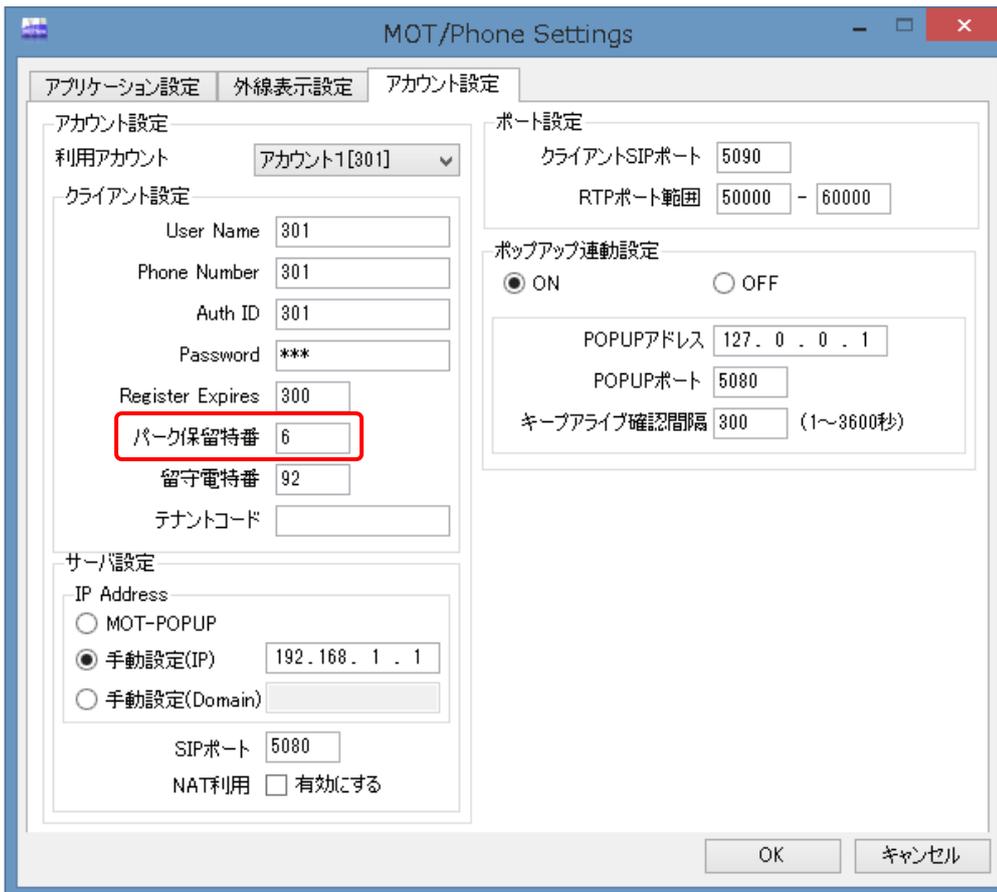
■概要

パーク保留特番を設定します。

設定した番号のパークグループをパークボタンで利用できます。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アカウント設定」タブを選択します。
- (3)パーク保留特番欄にパーク保留特番を入力します。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



パーク保留特番を設定すると、パーク保留ボタンを押下した際に「パーク保留特番 + パーク保留ボタンの番号」として動作します。

例：パーク保留特番が「6」の場合



5-3. アカウントを複数設定する・切り替える

■概要

アカウントの切り替えを利用することで2つまでのアカウント情報を設定することが可能です。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アカウント設定」タブを選択します。
- (3)「利用アカウント」メニューから、利用したいアカウントを選択します。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

The screenshot shows the 'MOT/Phone Settings' dialog box with the 'アカウント設定' (Account Settings) tab selected. The '利用アカウント' (Used Account) dropdown menu is highlighted with a red box and set to 'アカウント1[301]'. The 'クライアント設定' (Client Settings) section includes fields for User Name (301), Phone Number (301), Auth ID (301), Password (***), Register Expires (300), Park Hold Number (6), Hold Number (92), and Tenant Code. The 'サーバ設定' (Server Settings) section includes IP Address options (MOT-POPUP, Manual IP (192.168.1.1), Manual Domain), SIP Port (5080), and NAT Usage (unchecked). The 'ポート設定' (Port Settings) section includes Client SIP Port (5090) and RTP Port Range (50000 - 60000). The 'ポップアップ連動設定' (Popup Linkage Settings) section includes ON/OFF radio buttons, POPUP Address (127.0.0.1), POPUP Port (5080), and Keypress Confirmation Interval (300 seconds).

■注意事項

両方のアカウントを同時に利用することはできません。

5-4. 利用するポート番号を設定する

■概要

クライアント SIP ポート、サーバ SIP ポート、RTP ポートを設定します。

■設定方法

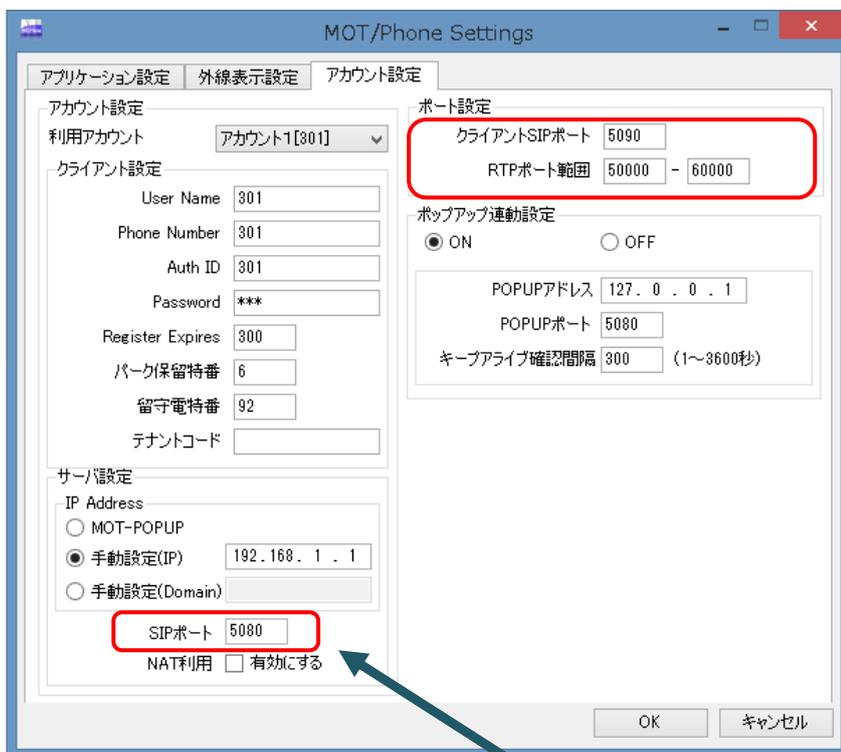
(1)設定画面を開きます。

(2)「アカウント設定」タブを選択します。

(3)各種設定を行います。

- ・クライアント SIP ポート … 自局側の SIP ポートです。初期値で「5090」を設定します。
- ・サーバ SIP ポート … 接続先の SIP ポートです。ポップアップと通信する場合、初期値「5080」を設定します。
- ・RTP ポート範囲 … 通話音声データをやりとりするポート番号です。
(最小値 - 最大値)の範囲で入力します。

(4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

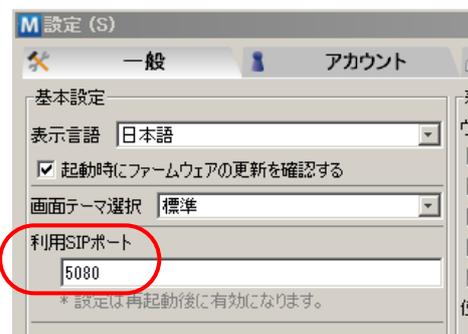


【ポップアップクライアント設定画面】

同値を設定

■注意事項

接続先設定を「MOT-POPUP(初期値)」に設定している場合、サーバ SIP ポートは **POPUP クライアントの「利用 SIP ポート」と同値**(通常 5080)を設定します。



直接 SIP サーバに接続している場合は、MOT/PBX の SIP サーバのポート番号(通常 5060)を設定し、ポート範囲の最小値と最大値は最低5以上開ける必要がございます。

5-5. 接続先 (PBX) の設定を行う

5-5-1 サーバ手動設定 (POPUP 連動なし)

■概要

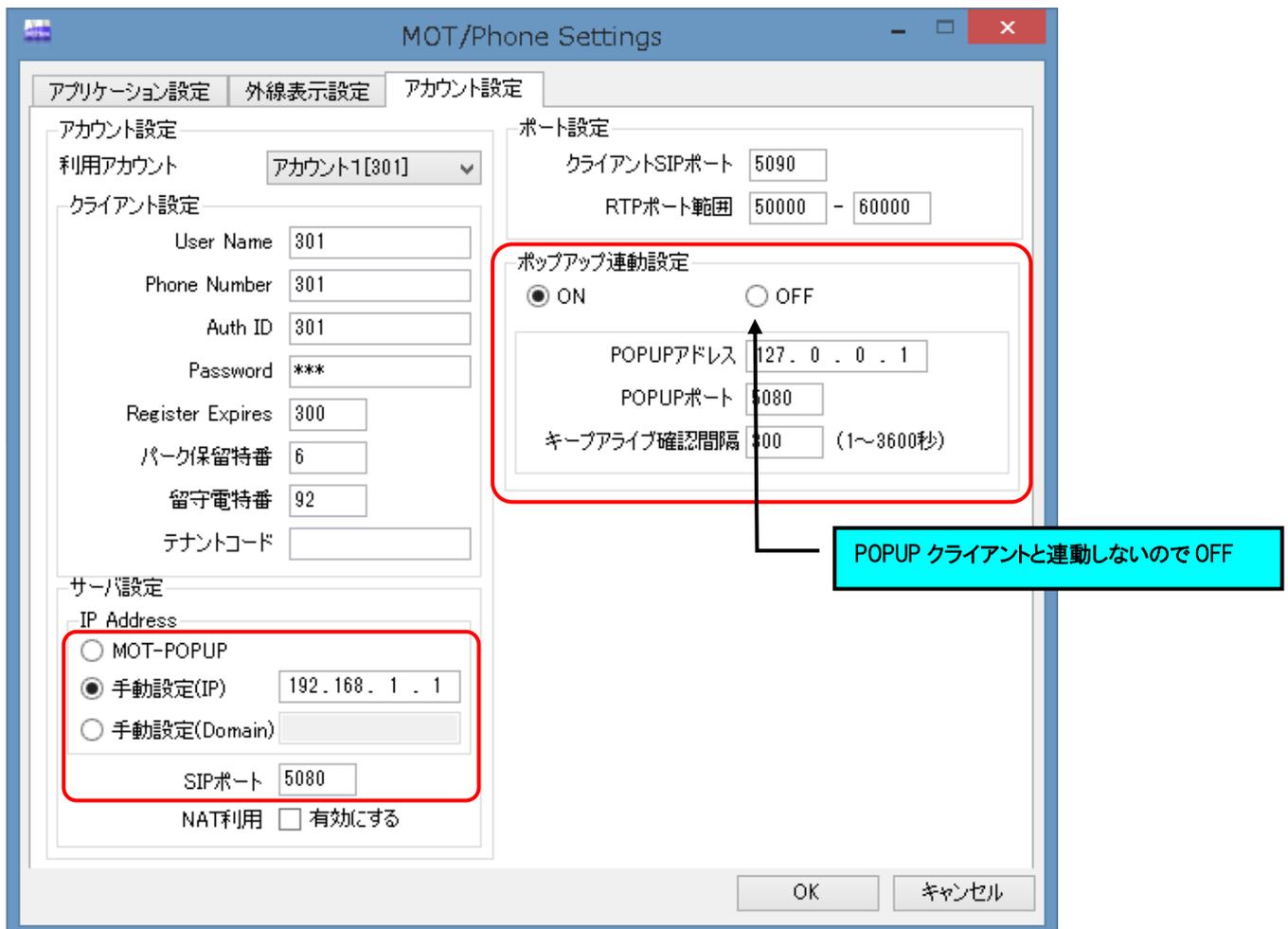
MOT/Phone Windows 版は通常 POPUP クライアントを経由して SIP サーバに接続しますが、セキュリティソフトなどの関係上、PC 内部での通信が制限されてしまう場合があります。その場合、SIP サーバに直接接続することで解決する場合がございます。なお、この機能を利用すると一部機能が制限されます。(注意事項に後述)

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アカウント設定」タブを選択します。
- (3)サーバ設定の接続先設定を「手動設定」に変更します。
- (4)下の IP アドレス欄に SIP サーバの IP アドレスを入力します。
- (5)下の SIP ポート欄に SIP サーバのポート番号を入力します。
- (6)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。
- (7)ポップアップ連動設定を OFF にすると POPUP クライアントの連動機能が動作しなくなります。

■注意事項

手動設定にした場合、POPUP クライアントとの連携がとれなくなるため、履歴機能と電話帳機能が利用できなくなりますのでご注意ください。



5-5-2 サーバ手動設定 (POPUP 連動あり)

■概要

MOT/Phone Windows 版を SIP サーバに直接接続しますが、POPUP クライアントと連動し履歴機能と電話帳機能を使用する事ができます。本機能は MOT/Phone version 6.2.0 以降で使用できます。

MOT/Phone が SIP サーバと直接通信しますので、PC 内部での通信負荷が軽減されます。MOT/Phone が主体で POPUP と連携しますが、ユーザはサーバ設定で MOT-POPUP を選択した時と同様に CTI ポップアップの表示、履歴機能、及び電話帳機能をそのまま使用することができます。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アカウント設定」タブを選択します。
- (3)サーバ設定の接続先設定を「手動設定」に変更します。
- (4)下の IP アドレス欄に SIP サーバの IP アドレスを入力します。
- (5)下の SIP ポート欄に SIP サーバのポート番号を入力します。
- (6)(3)で手動設定を選択すると「ポップアップ連動設定」項目が選択可能になります。
- (7)ポップアップ連動設定を ON にすると POPUP クライアントの連動機能が動作します。

設定項目の詳細は default 設定を推奨しますが、各項目変更する場合は POPUP クライアントと設定をあわせる必要があります。詳細は注意事項を参照して下さい。

- (8)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

■注意事項

手動設定 (POPUP 連動あり) にした場合、POPUP クライアント側の設定も変更する必要がありますのでご注意ください。

■手動設定 (POPUP 連動あり) 時の MotPhone 設定例

The screenshot shows the 'MOT/Phone Settings' dialog box with the 'アカウント設定' (Account Settings) tab selected. The 'サーバ設定' (Server Settings) section is highlighted with a red box, showing 'IP Address' set to '192.168.1.1' and 'SIPポート' (SIP Port) set to '5080'. The 'ポップアップ連動設定' (POPUP Linkage Settings) section is also highlighted with a red box, showing 'ポップアップ連動設定' (POPUP Linkage Setting) set to 'ON', 'POPUPアドレス' (POPUP Address) set to '127.0.0.1', 'POPUPポート' (POPUP Port) set to '5080', and 'キープアライブ確認間隔' (Keep-alive Check Interval) set to '300'. Annotations in blue boxes provide additional instructions: 'POPUP クライアントと連動するので ON' (ON because it links with POPUP client), 'POPUP クライアントと MotPhone が同じ PC 内であれば、POPUP アドレスは 127.0.0.1 POPUP ポートは 5080 を設定 (推奨)' (If POPUP client and MotPhone are on the same PC, set POPUP address to 127.0.0.1 and POPUP port to 5080 (recommended)), 'サーバと MotPhone との生存確認間隔です。Default の 300 秒を推奨' (This is the keep-alive check interval between server and MotPhone. Recommend default 300 seconds), 'NAT 利用する場合はチェック (default は無効)' (Check if using NAT (default is disabled)), '手動設定を選択し、接続する PBX の IP アドレスとポート番号を設定' (Select manual setting and set IP address and port number of PBX to connect), and '設定を反映するには OK ボタン押下し、再起動' (Press OK button to reflect settings and restart).

■手動設定(POPUP 連携あり)時のPOPUP クライアント設定例

設定 (S)

一般 アカウント FAX機能

基本設定
表示言語 日本語
 起動時にファームウェアの更新を確認する
 デバッグログ出力
画面テーマ選択 ブルー

利用SIPポート 5080
* 設定は再起動後に有効になります。

連携電話機 ソフトフォン(配下で利用)

着信情報ウィンドウ設定
ウィンドウ表示位置 中央
 着信時に自動ポップアップする
 通話開始時に自動ポップアップする
 不応答の通知を消さない
 通話した通知を消さない
 着信元番号を表示
 スクリーン前面に表示
使用検索エンジン Google
ポップアップを消すまでの時間 3秒
 着信メッセージを表示する

外部連携先設定
連携先 MOT/PBX

設定 (S)

一般 アカウント FAX機能

利用アカウント アカウント1 (301) 設定初期化

アカウント1 アカウント2

アカウント設定
内線番号 301
サーバアドレス 127.0.0.1
パスワード ●●●
 パスワードを保存
テナントコード

サーバ設定
SIPポート番号 5060
認証ID
HTTPポート番号 18080
 STUNサーバ利用
キーアライブ確認間隔 (秒) 300
確認間隔は1~3600で設定してください

前 次

5-5-3 MOT/TEL 設定 (POPUP 連動あり)

■概要

MOT/Phone Windows 版を MOT/TEL に直接接続しますが、POPUP クライアントと連動し履歴機能と電話帳機能を使用する事ができます。本機能は MOT/Phone version 6.4.5 以降で使用できます。

MOT/Phone が SIP サーバと直接通信しますので、PC 内部での通信負荷が軽減されます。MOT/Phone が主体で POPUP と連携しますが、ユーザはサーバ設定で MOT-POPUP を選択した時と同様に CTI ポップアップの表示、履歴機能、及び電話帳機能をそのまま使用することができます。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アカウント設定」タブを選択します。
- (3)テナントコードに指定されたテナントコードを入力します。
- (4)サーバ設定の接続先設定を「手動設定」に変更します。
- (5)下の IP アドレス欄、またはドメイン欄に SIP サーバの IP アドレスまたはドメインを入力します。
- (6)下の SIP ポート欄に SIP サーバのポート番号を入力します。
- (7)(4)で手動設定を選択すると「ポップアップ連動設定」項目が選択可能になります。
- (8)ポップアップ連動設定を ON にすると POPUP クライアントの連動機能が動作します。

設定項目の詳細は default 設定を推奨しますが、各項目変更する場合は POPUP クライアントと設定をあわせる必要があります。詳細は注意事項を参照して下さい。

- (8)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

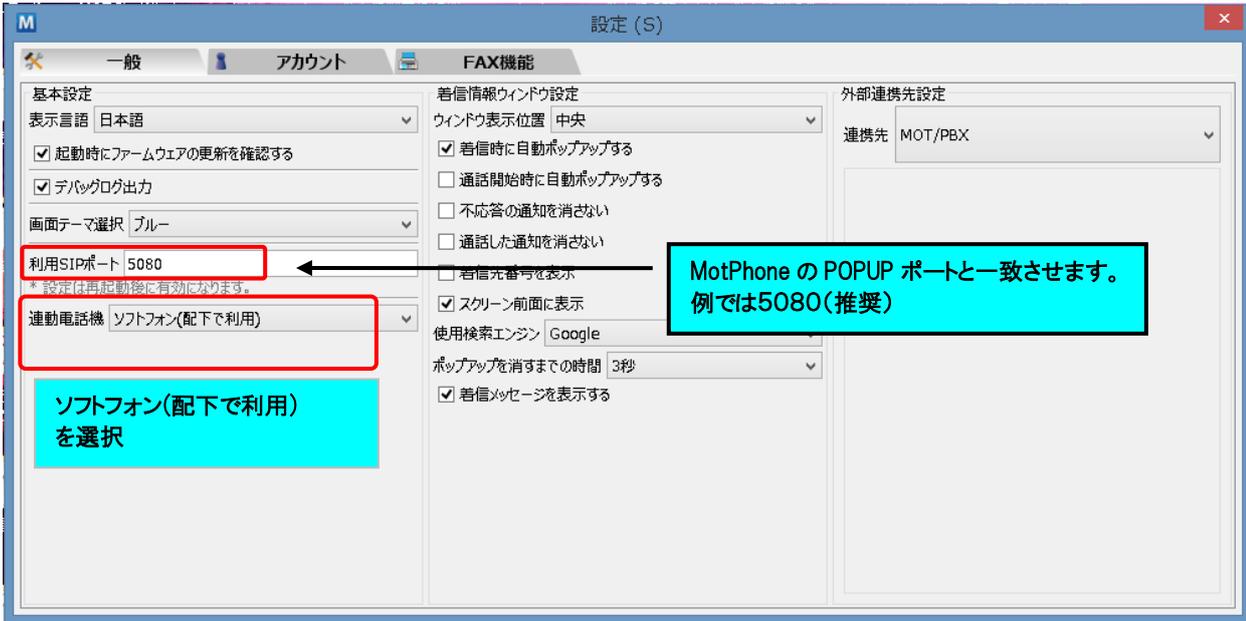
■注意事項

手動設定(POPUP 連動あり)にした場合、POPUP クライアント側の設定も変更する必要がありますのでご注意ください。

■手動設定(POPUP 連動あり)時の MotPhone 設定例

The screenshot shows the 'MOT/Phone Settings' window with the 'アカウント設定' (Account Settings) tab selected. The 'アカウント設定' section includes fields for '利用アカウント' (Account), 'クライアント設定' (Client Settings) with fields for 'User Name', 'Phone Number', 'Auth ID', 'Password', 'Register Expires', 'パーク保留待番', '留守電特番', and 'テナントコード'. The 'サーバ設定' (Server Settings) section has 'IP Address' options: 'MOT-POPUP', '手動設定(IP)' (selected), and '手動設定(Domain)'. The '手動設定(IP)' option is filled with '192.168.1.1'. Below it are 'SIPポート' (5080) and 'NAT利用' (checked). The 'ポップアップ連動設定' (Popup联动 Settings) section has 'ON' selected, 'POPUPアドレス' (127.0.0.1), 'POPUPポート' (5080), and 'キーブアラライブ確認間隔' (300). A red box highlights the '手動設定(IP)' option and the IP address field. A blue callout box contains the text: '手動設定(IP)もしくは(Domain)を選択し、接続するMOT/TELのテナントコード、IPアドレスまたはドメインとSIPポート番号(5060)を設定 NAT利用は有効にするにチェックを入れます'. A pink callout box contains the text: '「次」を押下し、次pageで「登録」ボタン押下し、再起動'. The 'OK' button is also highlighted with a red box.

■MOT/TEL 設定(POPUP 連携あり)時の POPUP クライアント設定例



5-6. 発信/着信優先設定を行う

■概要

発信と着信の優先度を設定します。

発信優先にすると番号入力中等に着信をブロックします。

■設定方法

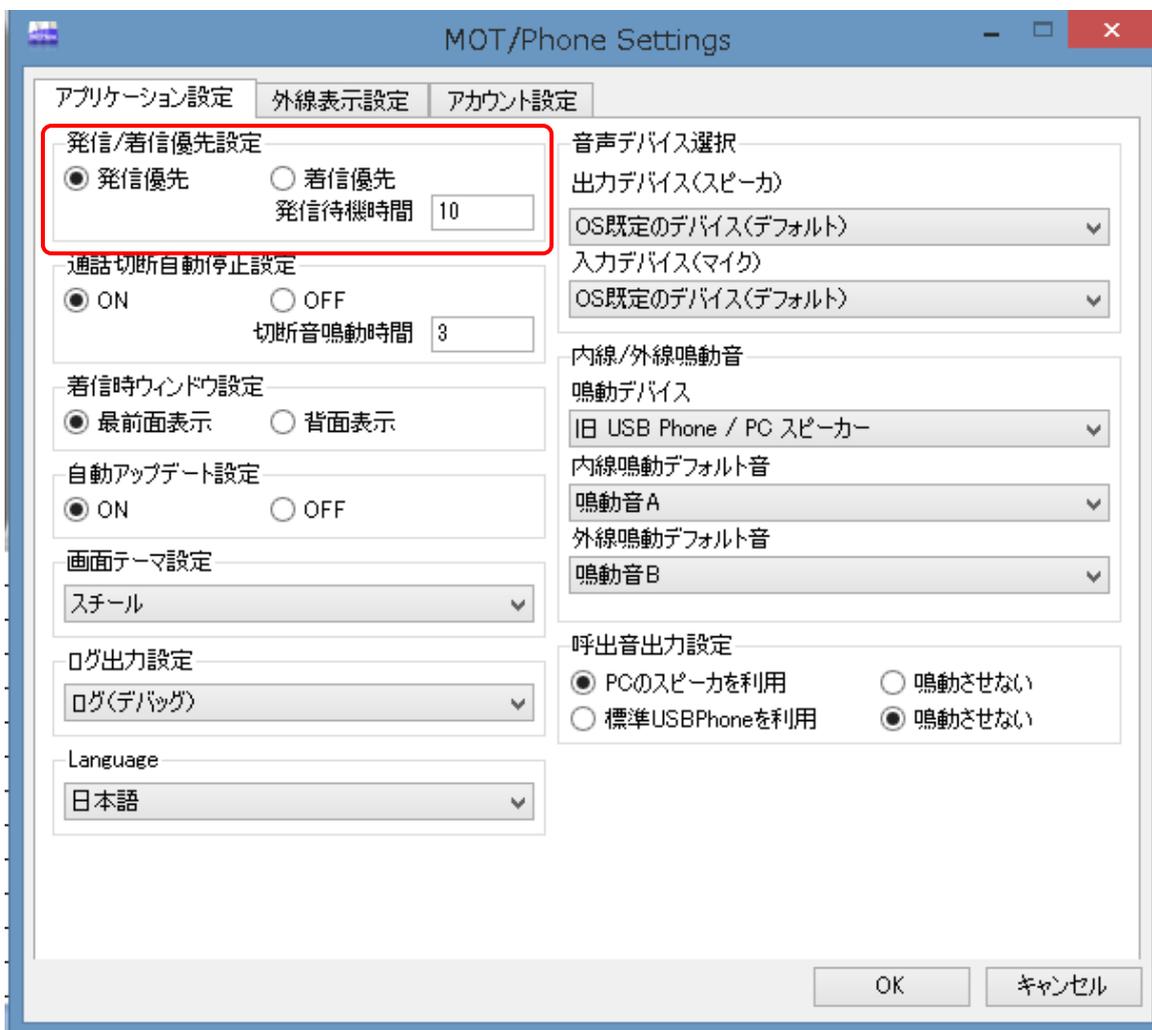
(1)設定画面を開きます。

(2)「アプリケーション設定」タブを選択します。

(3)発信/着信優先設定を設定します。

- ・発信優先 … 番号入力開始時から指定した時間の着信をブロックします。
- ・着信優先 … 入力状態に関わらず着信時に鳴動します。
- ・発信待機時間 … 発信優先設定時に着信をブロックする秒数を設定します。

(4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■注意事項

- ・番号が何も入力されていない状態で入力を開始した場合のみ、発信待機を開始します。
既に何らかの番号が入力されている状態で入力を開始しても発信待機は行われません。
- ・発信優先設定の場合、番号入力を開始してから設定した秒数が経過した際、その時点で既に着信している通話を受ける事はできません。

5-7. 通話切断音の時間を変更する

■概要

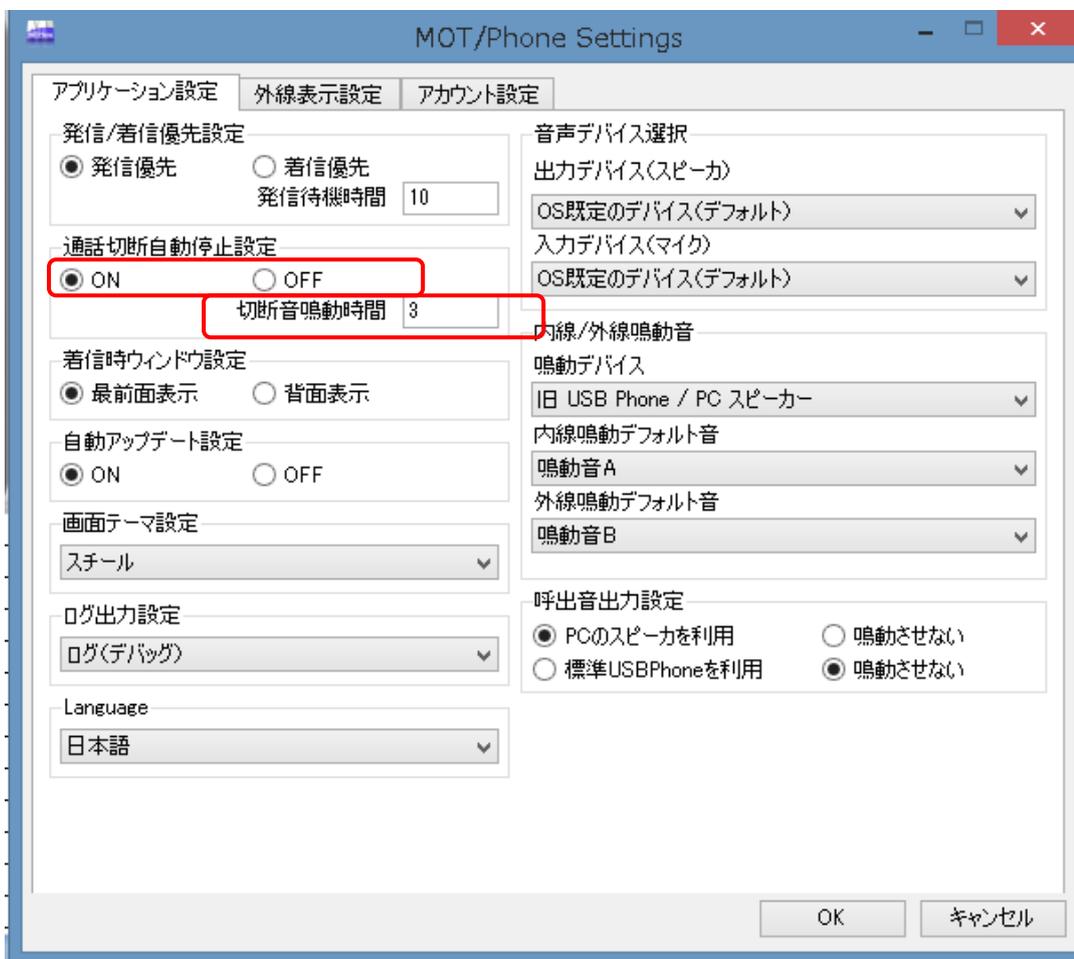
通話後に鳴動する切断音を自動で停止する時間を変更、もしくは切断ボタンを押してから停止するように変更する事が可能です。

OFFにした場合は手動で通話を切断する必要がございます。

初期値 ON の場合は、指定した秒数切断音が鳴動した後、電話を利用していない初期状態に戻ります。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3)「通話切断音自動停止設定」内のラジオボタンで ON/OFF を設定します。
- (4)設定を ON にした場合は、通話終了から自動切断されるまでの時間も設定します。
- (5)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



5-8. 着信時にディスプレイの最前面に表示する

■概要

着信時に MOT/Phone が自動的に前面に表示されるよう設定します。

「最前面表示」に設定すると、別ウィンドウの作業中にも最前面に電話画面が表示されます。

他の作業の邪魔にならないようにするためには、「背面表示」を選択します。



最前面への表示を選択すると着信と同時に入力していた数値や Enter キーの情報が MOT/Phone 側で識別され、予期せぬ番号への発信や応答につながる事がありますのでご注意ください。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3)「着信時ウィンドウ設定」で「最前面表示」をチェックします。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

MOT/Phone Settings

アプリケーション設定 外線表示設定 アカウント設定

発信/着信優先設定
 発信優先 着信優先
発信待機時間 10

通話切断自動停止設定
 ON OFF
切断音鳴動時間 3

着信時ウィンドウ設定
 最前面表示 背面表示

自動アップデート設定
 ON OFF

画面テーマ設定
スチール

ログ出力設定
ログ(デバッグ)

Language
日本語

音声デバイス選択
出力デバイス(スピーカ)
OS既定のデバイス(デフォルト)

入力デバイス(マイク)
OS既定のデバイス(デフォルト)

内線/外線鳴動音
鳴動デバイス
旧 USB Phone / PC スピーカー

内線鳴動デフォルト音
鳴動音A

外線鳴動デフォルト音
鳴動音B

呼出音出力設定
 PCのスピーカを利用 鳴動させない
 標準USBPhoneを利用 鳴動させない

OK キャンセル

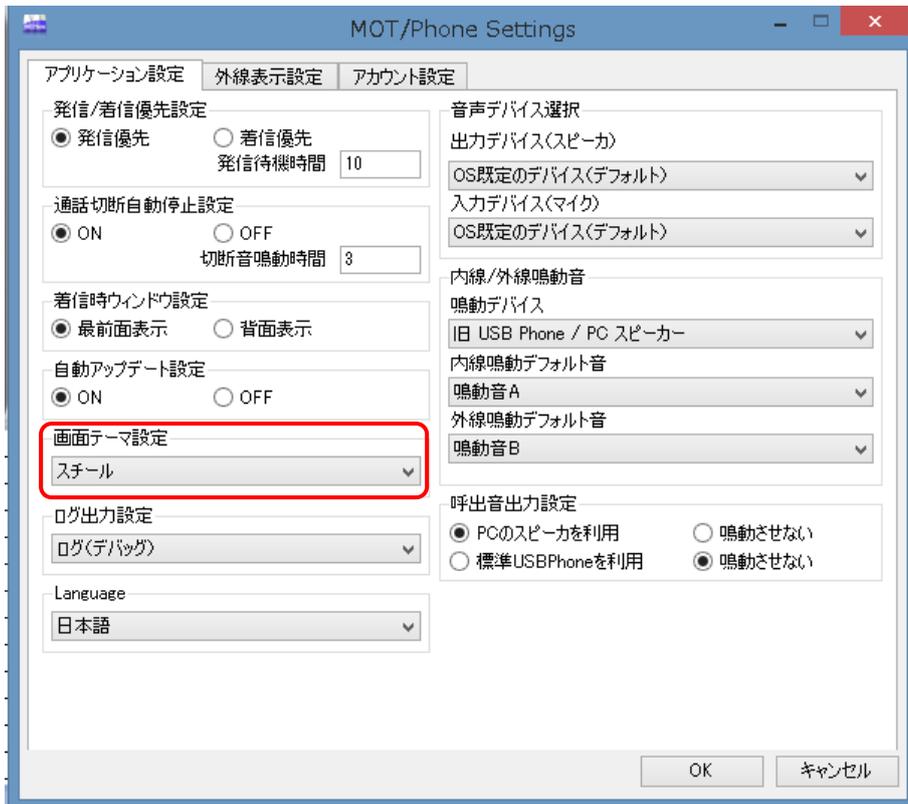
5-9. アプリの外観を変更する

■概要

MOT/Phone の外観を変更します。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3)「画面テーマ設定」でお好みのテーマに設定します。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



MOT/Phone Windows 版では、5種類の画面テーマを提供しております。



【スチール】



【アンティーク】



【ブルー】



【ラブリーベア】



【クラシック】

5-10. 音声デバイス（USBPhone や PC スピーカー）設定を変更する

■概要

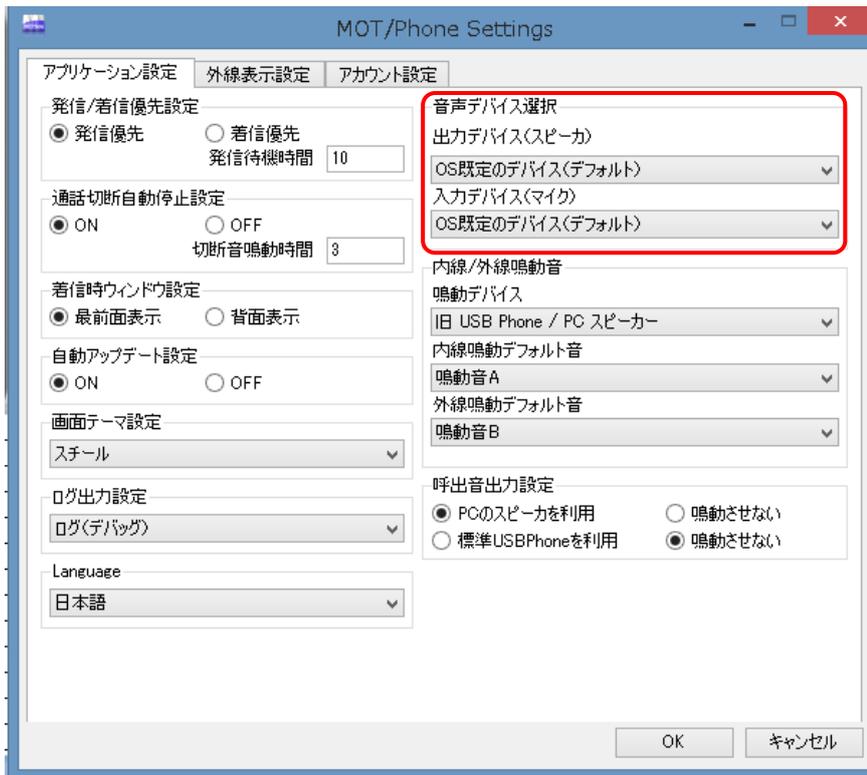
音声を出力するデバイス、音声を入力するデバイスをそれぞれ設定します。

※スピーカーや旧 USBPhone を利用する場合に変更します。P240 は「OS 既定のデバイス」を利用します。

「OS 既定のデバイス(デフォルト)」に設定した場合、システムの設定に従います。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3)「音声デバイス選択」から出力デバイス、入力デバイスをそれぞれ選択します。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■注意事項

- ・MOT/Phone 起動時に設定したデバイスが接続されていなかった場合、「OS 既定のデバイス(デフォルト)」が自動で選択されます。
- ・USB デバイスを設定し、設定時にデバイスが接続されている USB 差込口と異なる場所に接続すると、デバイスを認識できません。
- ・USB デバイスを接続する差込口を変更した場合、再設定を行う必要がございます。
- ・当社指定の USB デバイス 旧 USB Phone(Yealink USB-P8D)と新 USB Phone(HCU-201HT)、OS 既定のデバイス以外の音声デバイスにおける動作は保証の対象外となります。対象外の USB デバイスを選択した場合、指定したデバイスの抜差しにより通話音声聞こえなくなる場合がございますが、MOT/Phone を再起動することで復旧できます。

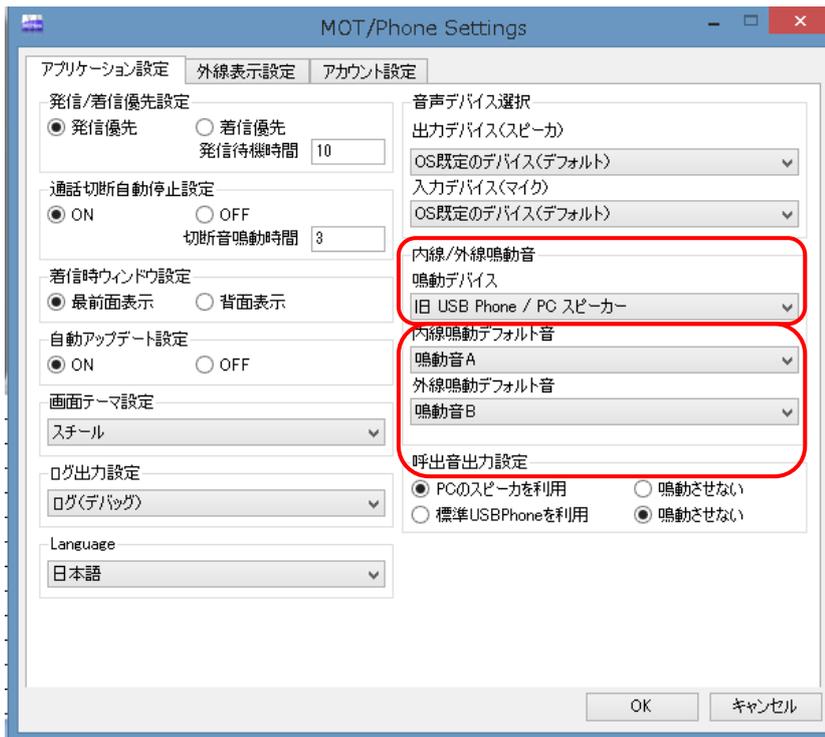
5-11. 内線/外線着信時の鳴動音を変更する

■概要

着信音を変更します。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3)鳴動デバイスで「旧USB Phone/PC スピーカー」を選択します。
- (4)「内線鳴動デフォルト音」、「外線鳴動デフォルト音」をそれぞれ設定します。
- (5)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



■注意事項

- ・本設定はデフォルトの鳴動音を設定するものであり、この項目で設定された鳴動音よりも SIP サーバで設定された鳴動音やライン別鳴動音が優先されます。
- ・USB フォンから流れる鳴動音は以下ようになっております。(PCから鳴動する場合はメロディが流れます。)

鳴動音 A=標準の音

鳴動音 B=低めの鳴動音

鳴動音 C=鳴動音 B の音量が小さくなったもの

鳴動音 D=中程度の高さの音

鳴動音 E=鳴動音 D の音量が小さくなったもの

鳴動音 F=高めの音

鳴動音 G=鳴動音 F の音量が小さくなったもの (※鳴動音で一番小さく聞こえる。当社比較)

鳴動音 H=鳴動音 A の逆パターン

鳴動音 I=鳴動音 H の音量が小さくなったもの

鳴動音 J=ビジネスフォン風パターン1

鳴動音 K=ビジネスフォン風パターン2

鳴動音 L=ビジネスフォン風パターン3

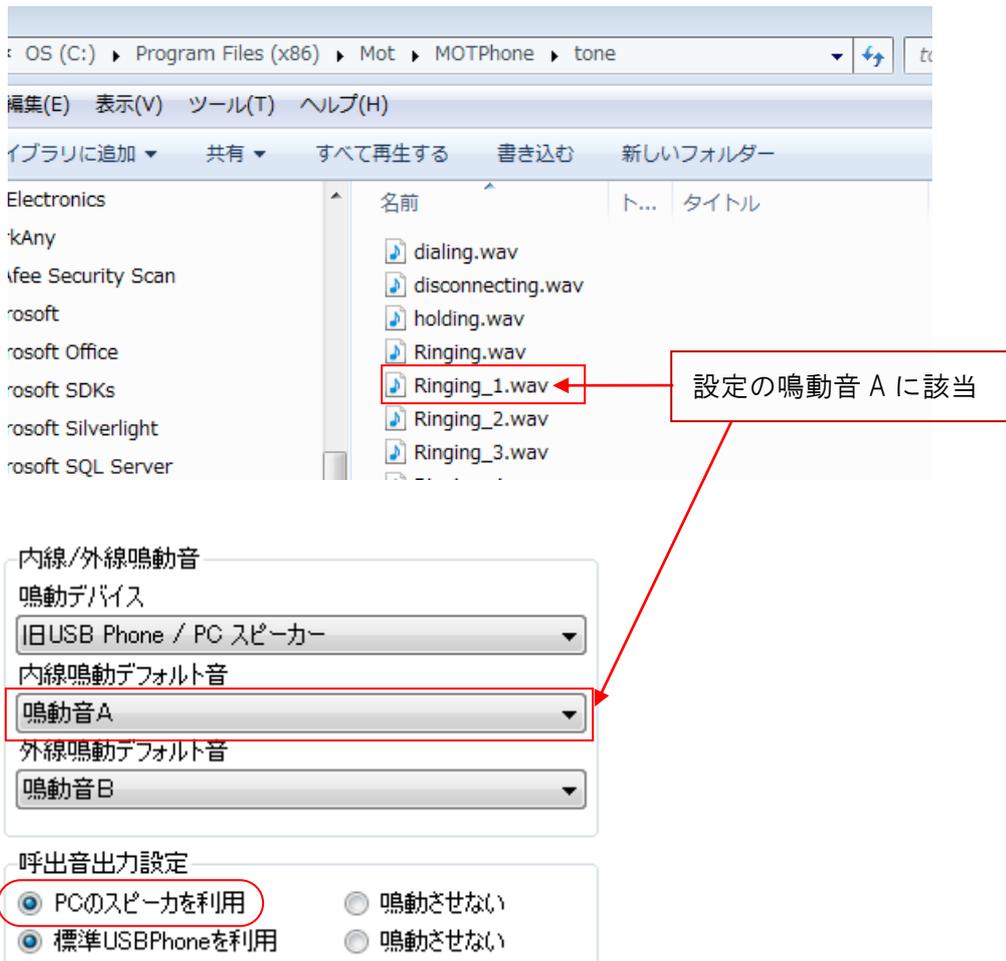
5-12. パソコン本体から流れる着信鳴動音を変える

■概要

前項にて PC から着信鳴動音を鳴らす場合、独自に鳴動するファイルを設定する事が出来ます。
鳴動する音声ファイル自体は独自のものを利用します。

■設定方法

- ① エクスプローラを開いて MOT/Phone Windows 版がインストールされているフォルダへ移動します。
- ② エクスプローラを開いて、上部アドレスバーに「 %PROGRAMFILES% 」もしくは「 %PROGRAMFILES(X86)% 」を入力して表示されるフォルダ一覧より「 Mot 」 「 MOTPhone 」 「 tone 」の順で移動します。
- ③ 以下 tone フォルダ内に Ringing_1.wav ~ Ringing_12.wav のファイルがありますのでそれを差し替えます。
設定画面の鳴動音 A~L がそれぞれ上記1~12 に該当しますので必要なファイルを変更します。



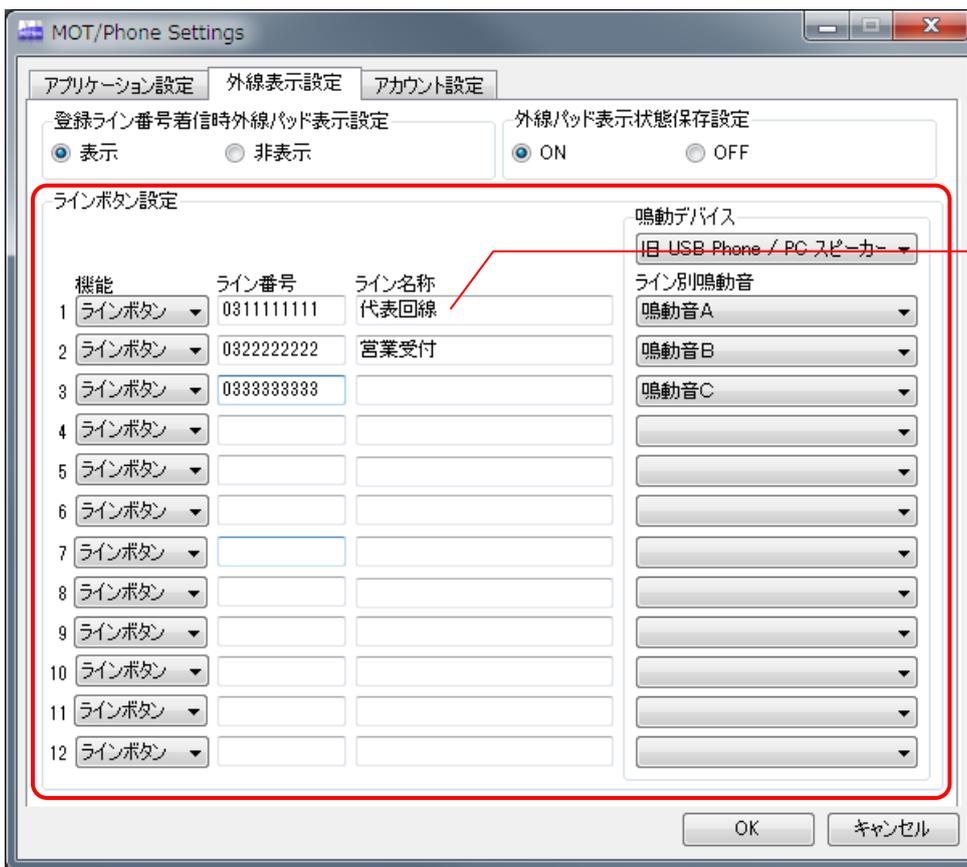
5-13. ラインボタンの割り付けを行う

■概要

ラインボタンの設定を行うことで発信する外線番号を変更し、着信先に応じて鳴動音を変更することが可能です。ライン番号に指定する鳴動音は MOT/Phone Settings→「アプリケーション設定」タブ→「内線/外線鳴動音」→「外線鳴動デフォルト音」より優先されます。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「外線表示設定」タブを選択します。
- (3)ラインボタン設定欄を編集します。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



このように、「ライン名称」に分かりやすい名称を入力することをお勧めします。
入力しない場合は、そのまま表示されます。

■注意事項

- ・画面テーマ設定:「スチール」、「ブルー」では、外線パッドにラインボタンを 24 個表示します。
- ・画面テーマ設定:「アンティーク」、「ラプリーベア」、「クラシック」ではラインボタンを 6 個まで表示します。

ライン番号は表示しません。ライン別鳴動音設定7~24 のライン番号については、鳴動音のみご利用いただけます。

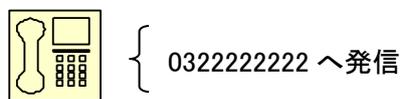
- ・ライン別鳴動音が未設定の場合は外線鳴動デフォルト音に設定されている鳴動音が流れます。
- ・ライン別鳴動音が未設定、外線鳴動デフォルト音が削除等でエラーの場合はデフォルト着信音が流れます。



■使用方法

着信動作

ライン番号に設定した番号に着信があった場合、対応したラインボタンが点滅します。



MOT/Phone のラインボタンは、他の電話機やソフトフォンで利用している状態と連動してラインボタンが点灯する機能はございません。あくまで自身への着信の際のみ点灯します。

■外線パッドライン数24

MOT/Phone の version6.2.0 以降は、画面テーマ設定:「スチール」、「ブルー」の際は外線パッドのラインボタンが 24 個になりました。



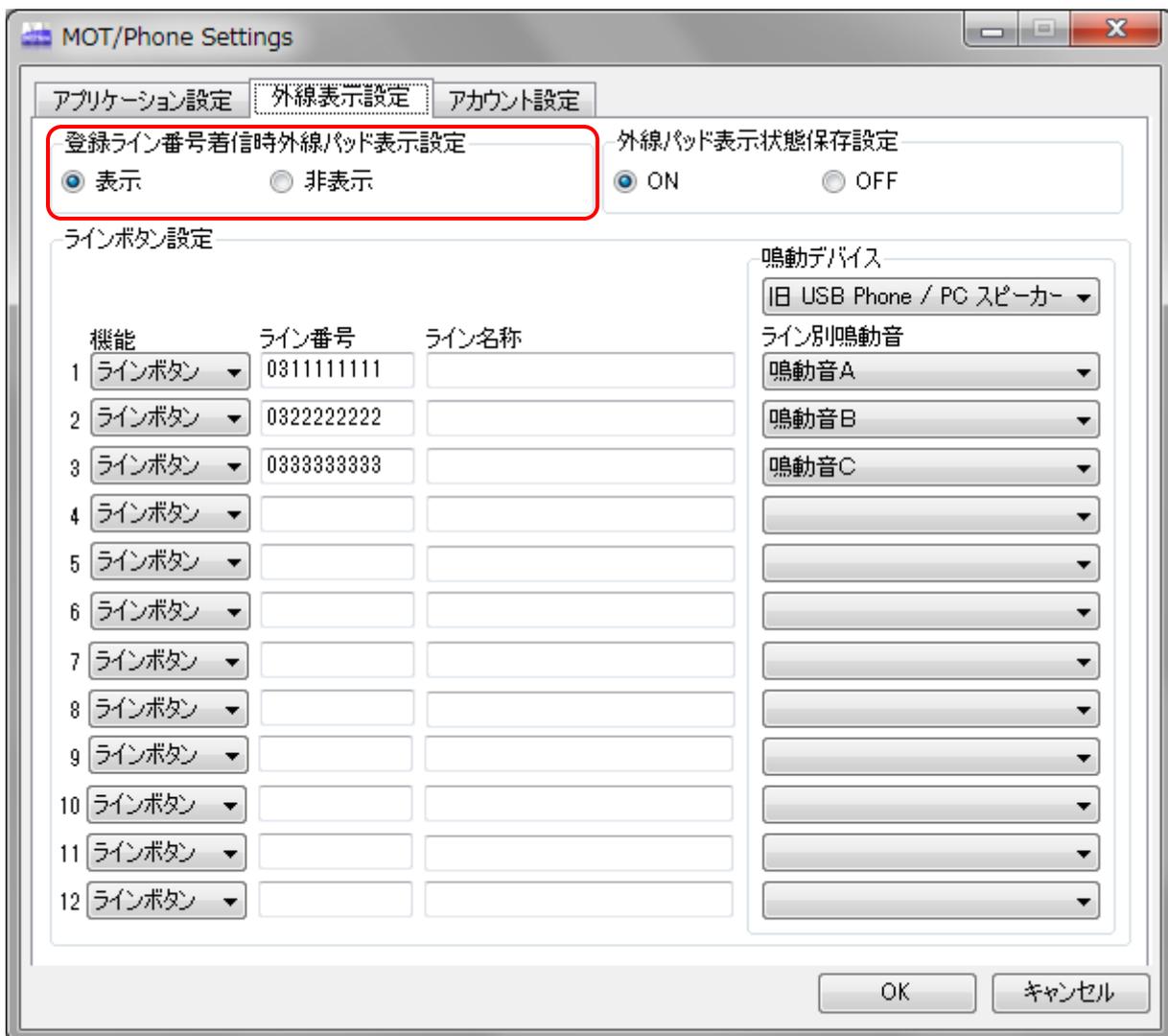
5-14. 外線着信時にラインボタンを自動的に表示する

■概要

画面テーマ設定:「スチール」、「ブルー」では、開閉可能な外線パッドにラインボタンを 24 個まで表示します。
登録したライン番号から着信した場合に、外線パッドを開く設定が可能です。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「外線表示設定」タブを選択します。
- (3)「登録ライン番号着信時外線パッド表示設定」を「ON」に設定します。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



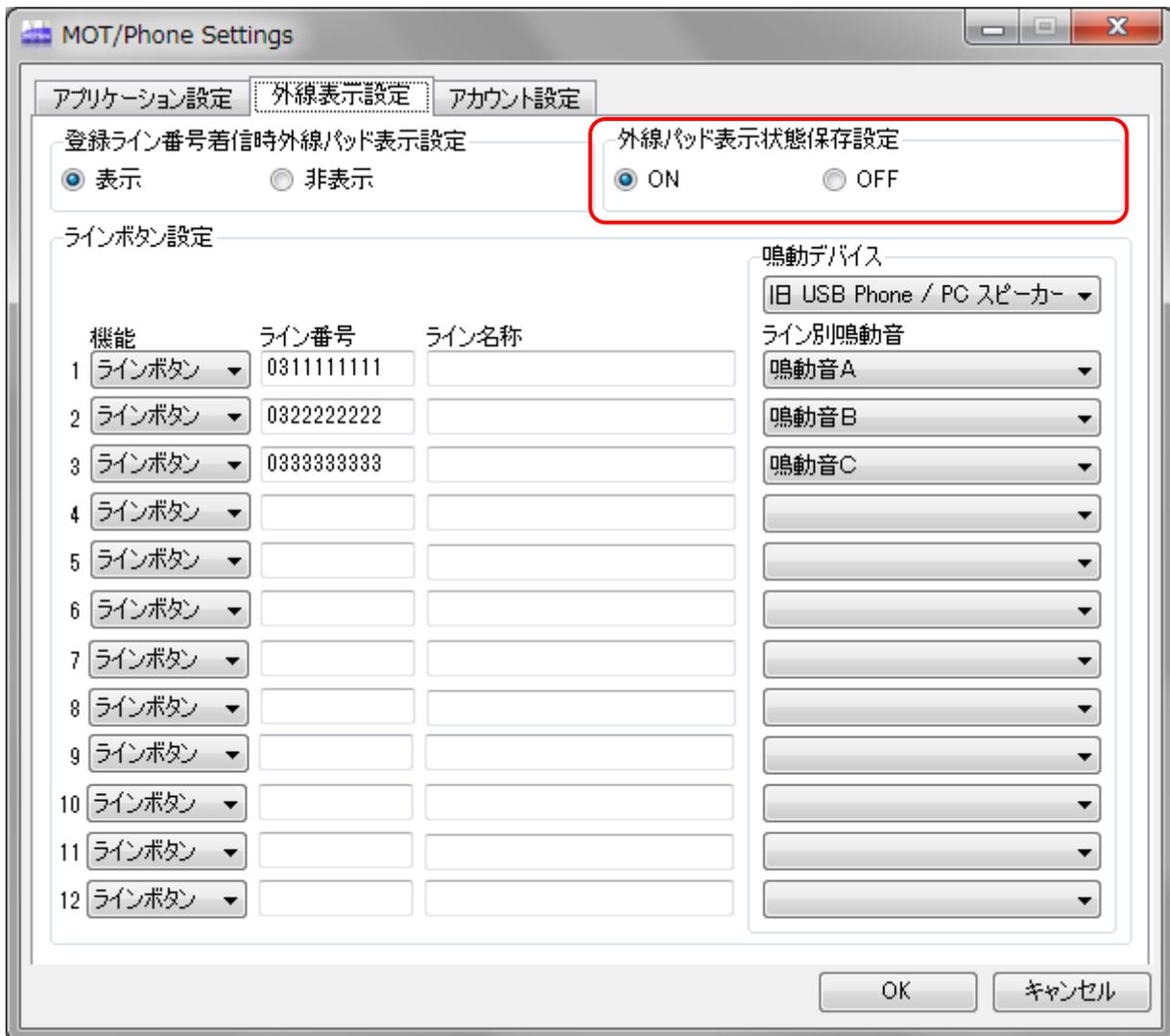
5-15. ラインボタンの初期表示状態を決める

■概要

画面テーマ設定:「スチール」、「ブルー」では、開閉可能な外線パッドにラインボタンを 24 個まで表示します。外線パッドを開いた状態で MOT/Phone Windows 版を終了した場合に、起動時に外線パッドを開く設定が可能です。

■設定方法

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 「外線表示設定」タブを選択します。
- (3) 「外線パッド表示状態保存設定」を「ON」に設定します。
- (4) OK を押し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



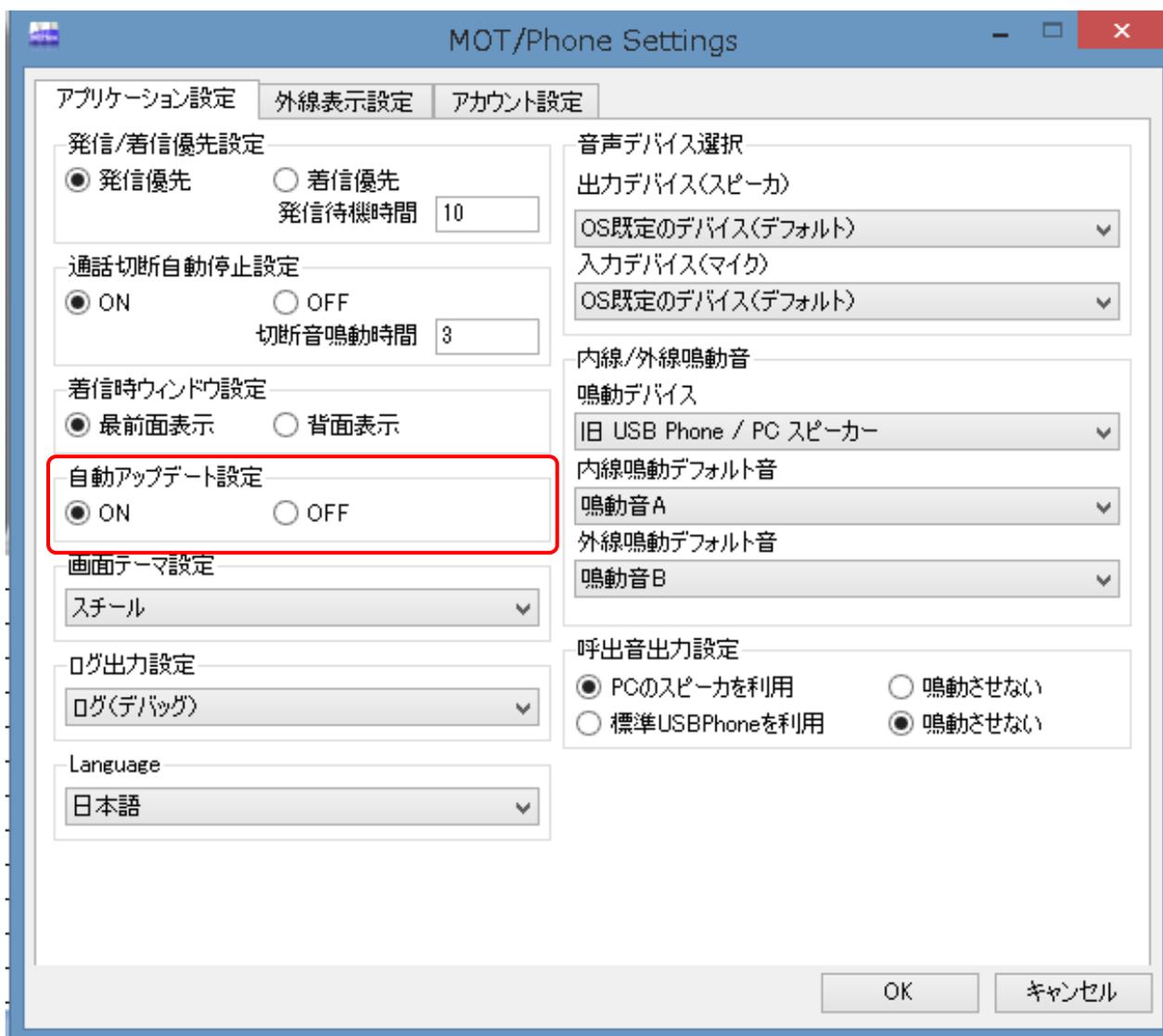
5-16. アプリの自動アップデートを有効にする

■概要

MOT/Phone 起動時にアップデートを確認し、最新版がダウンロードセンターに存在していた場合、自動的に最新バージョンをダウンロードする設定を行います。

■設定方法

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「アプリケーション設定」タブを選択します。
- (3)「自動アップデート設定」を「ON」に設定します。
- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。



USBPhone を抜いた状態でアップデートを行う、またはアップデート後に USBPhone の抜き差しを必ず行ってください。

5-17. ラインボタンから留守電機能を利用する

■概要

外線パッドのラインボタンに「留守電開始」、「留守電終了」、「留守電状態+留守電再生」の機能を割り当てることができます。

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「外線表示設定」タブを選択します。
- (3)ラインボタン設定欄を編集します

項目名称	機能説明
鳴動デバイス	設定は無視されます。
機能	リストから機能を選択します。 「留守電開始」を選択すると、留守電開始用番号+Phone Number が自動で設定されます。 「留守電終了」を選択すると、留守電終了用番号が自動で設定されます。 「留守電状態」を選択すると、Phone Number が自動で設定されます。 ※グループ着信番号、ラインキー番号を運用に合わせて追加・修正してください。
ライン番号	留守電機能用の番号を設定します。
ライン名称	外線パッドに表示する名称を設定します。空の場合はライン番号が表示されます。
ライン別鳴動音	設定は無視されます。

- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

■設定画面

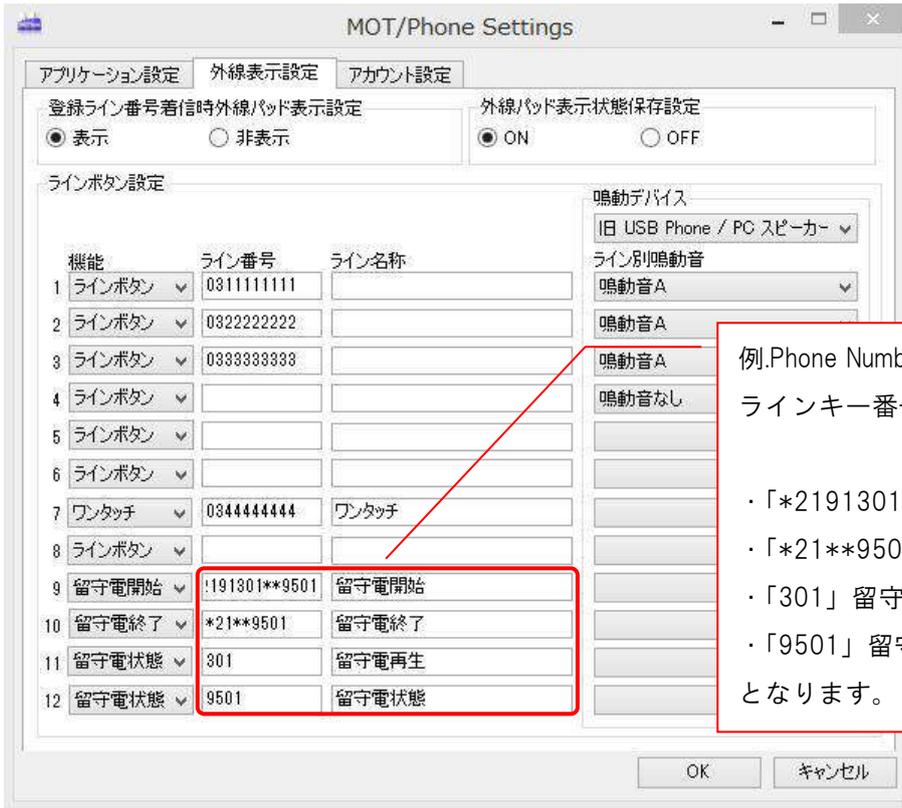
グループ着信設定例

例.Phone Number 「301」
グループ着信番号「500」の場合

- ・「*2191301**500」留守電開始
- ・「*21**500」留守電終了
- ・「301」留守電再生
- ・「500」留守電状態

となります。

マルチライン着信設定例



■注意事項

- ・留守電機能は、画面テーマ設定:「スチール」、「ブルー」でのみ機能します。「アンティーク」、「ラブリーパー」、「クラシック」では、ラインボタン機能となります。

■使用方法

Phone Number が「301」のユーザが設定した場合

(1)留守電を開始する。

- (1-1)外線パッド上の「留守電開始」ボタンを押下します。
- (1-2)留守電開始用の番号へ発信され、自動的に切断されます。
- (1-3)外線パッド上の「留守電状態」ボタンが点灯(緑)します。

※留守電メッセージがある場合は「留守電再生」ボタンが点滅(緑)します。



(2)留守電を終了する

(2-1)外線パッド上の「留守電終了」ボタンを押下します。

(2-2)留守電終了用の番号へ発信され、自動的に切断されます。

(2-3)外線パッド上の「留守電状態」ボタンが消灯します。

※留守電メッセージがある場合は「留守電再生」ボタンが点滅(緑)



(3)留守電メッセージを再生する

留守電メッセージがある場合は、外線パッド上の「留守電再生」ボタンが点滅(緑)しています。

(3-1)外線パッド上の「留守電再生」ボタンを押下します。

(3-2)留守電再生用の番号へ発信され、留守電メッセージを確認できます。

(3-3)留守電メッセージ確認後に通話を切断すると、外線パッド上の「留守電状態」ボタンが消灯します。

※留守電中の場合は「留守電状態」ボタンが点灯(緑)します。



留守電機能を利用する場合はMOT/PBX本体の設定が必要となりますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

5-18. ワンタッチダイヤルを利用する

■概要

外線パッドのラインボタンに「ワンタッチダイヤル」の機能を割り当てることができます。

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「外線表示設定」タブを選択します。
- (3)ラインボタン設定欄を編集します

項目名称	機能説明
鳴動デバイス	設定は無視されます。
機能	リストから「ワンタッチ」を選択します。
ライン番号	番号を設定します。
ライン名称	外線パッドに表示する名称を設定します。空の場合はライン番号が表示されます。
ライン別鳴動音	設定は無視されます。

- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

このように、「ライン名称」に分かりやすい名称を入力することをお勧めします。

■注意事項

- ・ワンタッチダイヤル機能は、画面テーマ設定：「スチール」、「ブルー」でのみ機能します。「アンティーク」、「ラブリーベア」、「クラシック」では、ラインボタン機能となります。

■使用方法

(4)ワンタッチダイヤルを開始する。

(4-1)外線パッド上の「ワンタッチ」を設定したボタンを押下します。

(4-2)設定した番号へ発信されます。



ワンタッチボタンは、発信時には利用できますが、保留転送時にはご利用いただけません。
保留転送の際は、電話帳から名称を選択して転送をおこなうか直接ダイヤルしてください。

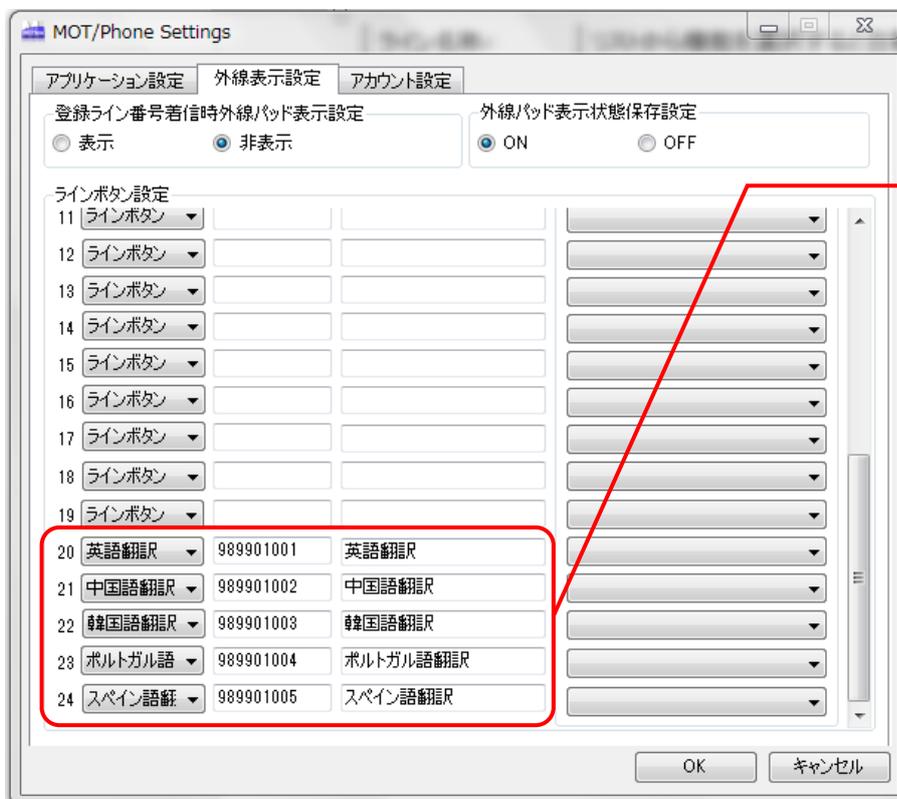
5-19. 通訳サービスの利用をする

■概要

外線パッドのラインボタンに「MOT どこでも通訳」の機能を割り当てることができます。

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「外線表示設定」タブを選択します。
- (3)ラインボタン設定欄を編集します

項目名称	機能説明
鳴動デバイス	設定は無視されます。
機能	リストから機能を選択します。 「英語翻訳」を選択すると、英語翻訳開始番号が自動で設定されます。 「中国語翻訳」を選択すると、中国語翻訳開始番号が自動で設定されます。 「韓国語翻訳」を選択すると、韓国語翻訳開始番号が自動で設定されます。 「ポルトガル語翻訳」を選択すると、ポルトガル語翻訳開始番号が自動で設定されます。 「スペイン語翻訳」を選択すると、スペイン語翻訳開始番号が自動で設定されます。 ※上記以外の言語翻訳サービスは 2015 年 12 月 15 日時点では提供していません。
ライン番号	リストから機能を選択すると自動的に設定します。
ライン名称	リストから機能を選択すると自動的に設定します。
ライン別鳴動音	設定は無視されます。



ラインボタン機能で各種言語翻訳を選択すると、ライン番号、ライン名称は自動的に入力されます。

- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

■注意事項

- ワンタッチダイヤル機能は、画面テーマ設定:「スチール」、「ブルー」でのみ機能します。
「アンティーク」、「ラブリーベア」、「クラシック」では、ラインボタン機能となります。

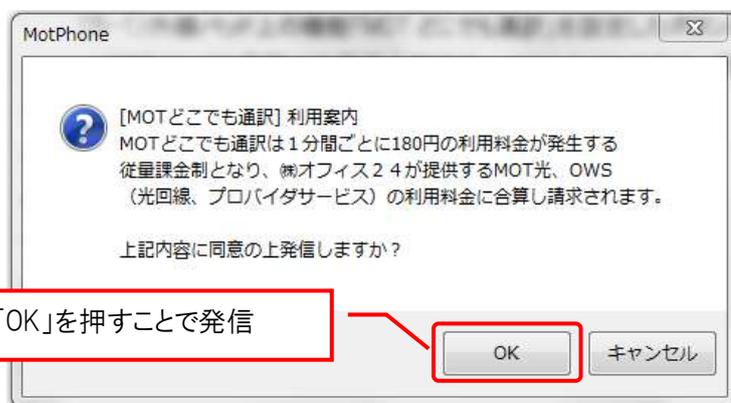
■使用方法

(5)MOT どこでも通訳を利用開始する。

(5-1)外線パッド上の機能「MOT どこでも通訳」を設定したボタンを押下します。

MOT どこでも通訳は従量課金制のサービスになりますので、ラインボタン押下毎に確認を促すダイナログ画面が表示されます。

※利用初回のみ「MOT どこでも通訳」利用規約画面が表示されます。一読後に利用をお願いします。



(5-2)設定した番号へ発信されます。

確認ダイナログ画面で「OK」を押すことで発信されます。

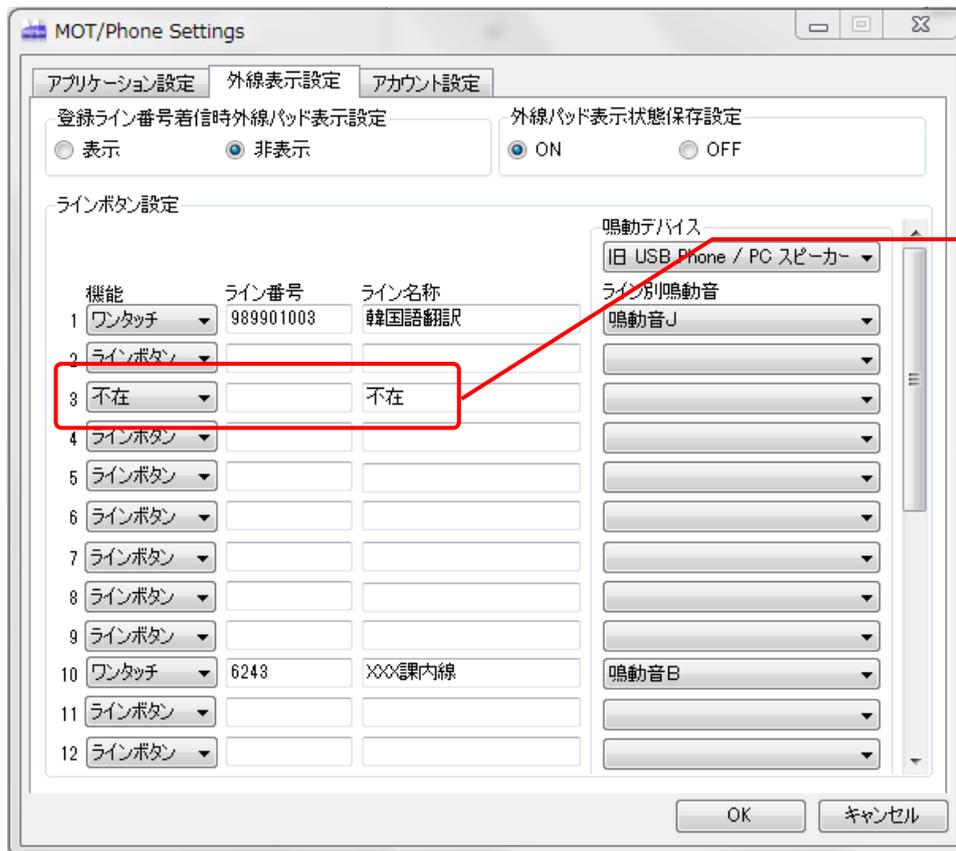
5-20. ラインボタンから不在着信拒否機能を利用する

■概要

外線パッドのラインボタンに不在着信拒否機能を割り当てることができます。

- (1)設定画面を開きます。
- (2)「外線表示設定」タブを選択します。
- (3)ラインボタン設定欄を編集します

項目名称	機能説明
鳴動デバイス	設定は無視されます。
機能	リストから「不在」を選択します。
ライン番号	ライン番号は使用しません。ライン番号欄は入力しないでください。
ライン名称	リストから機能を選択すると自動的に設定します。
ライン別鳴動音	設定は無視されます。



ラインボタン機能で「不在」を選択すると、ライン番号は空白、ライン名称は自動的に入力されます。

- (4)OK を押下し、MOT/Phone Windows 版を再起動し、設定が完了します。

■注意事項

- ・ワンタッチダイヤル機能は、画面テーマ設定:「スチール」、「ブルー」でのみ機能します。
「アンティーク」、「ラプリーベア」、「クラシック」では、ラインボタン機能となります。

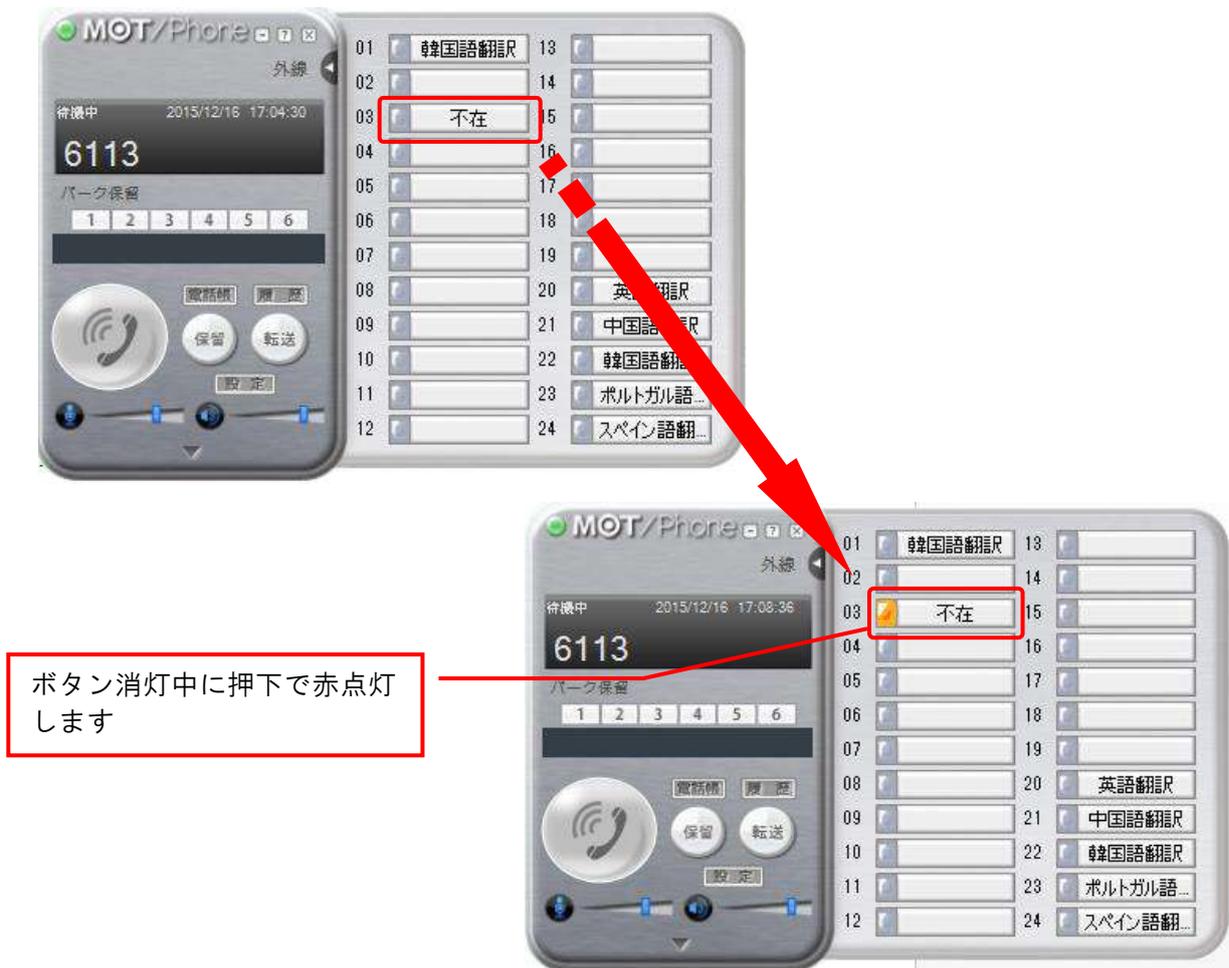
■使用方法

(5)不在着信拒否機能を利用開始する。

(5-1)外線パッド上の機能「不在」を設定したボタンを押下します。

ボタン消灯中であれば、LED が赤点灯し、不在着信拒否機能が適用されます。

不在ボタンが赤点灯中は、該当 MOT/Phone Windows 版宛の着信を全て Busy で返します。



※不在ボタンをライン上に複数設定することができますが、不在着信拒否機能として動作するのは1つだけです。

(6)不在着信拒否機能を終了する。

(6-1)外線パッド上の機能「不在」を設定したボタン(赤点灯中)を再度押下します。

ボタン LED 赤点灯中が消灯し、不在着信拒否機能が終了します。

不在着信拒否機能が終了すると、該当 MOT/Phone Windows 版宛の着信を受け付けます。

5-21. 正常に動作しない場合にファイアウォールの設定を変更する

■概要

正常に動作しない場合、Windows ファイアウォールが有効になっている場合があるため、これを解除する設定を行います。

■設定方法概要

Windows のファイアウォール設定で、ブロックされている設定を許可に変更します。

■Windows Vista、Windows 7、Windows 8 / 8.1 の場合

①「コントロールパネル」から「Windows ファイアウォール」を開き、「詳細設定」を選択します。



②「受信の規則」を選択します。



③MotPhone、MotPhone-POP、Java***でブロックされている項目を確認します。

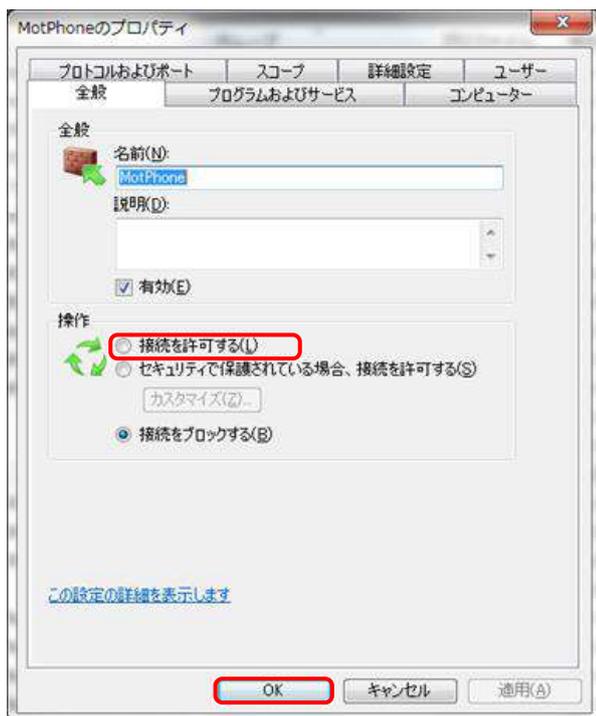
※  がブロックされている表示です。

名前	グループ	プロファイル	有効	操作	優先
Internet Explorer		プライベート	はい	許可	いいえ
Internet Explorer		プライベート	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	ブロ...	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	いいえ	許可	いいえ
Microsoft Office Outlook		パブリック	はい	許可	いいえ
Microsoft OneNote		パブリック	はい	許可	いいえ
Microsoft OneNote		パブリック	はい	許可	いいえ
MotPhone		プライベート	はい	許可	いいえ
MotPhone		ドメイン	はい	許可	いいえ
MotPhone		パブリック	はい	ブロ...	いいえ
MOTPhone-POP		ドメイン	はい	許可	いいえ
MOTPhone-POP		プライベート	はい	許可	いいえ
MOTPhone-POP		パブリック	はい	ブロ...	いいえ
Skype		すべて	はい	許可	いいえ
Teamviewer Remote Control Applica...		プライベート	はい	許可	いいえ
Teamviewer Remote Control Applica...		プライベート	はい	許可	いいえ
Teamviewer Remote Control Service		プライベート	はい	許可	いいえ
Teamviewer Remote Control Service		プライベート	はい	許可	いいえ
Trend Micro Client/Server Security A...		プライベート	はい	許可	いいえ

④ブロックを解除したいプログラムにカーソルを合わせ、右クリックしプロパティを選択します。



⑤「接続を許可する」にチェックを入れ、「OK」を押下します。



⑥接続許可の表示になっている事を確認します。

※  が許可されている表示です。

名前	グループ	プロファイル	有効	操作	優先
Internet Explorer		プライベート	はい	許可	いいえ
Internet Explorer		プライベート	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	プロ...	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		プライベート	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	はい	許可	いいえ
Java(TM) Platform SE binary		パブリック	いいえ	許可	いいえ
Microsoft Office Outlook		パブリック	はい	許可	いいえ
Microsoft OneNote		パブリック	はい	許可	いいえ
Microsoft OneNote		パブリック	はい	許可	いいえ
MotPhone		プライベート	はい	許可	いいえ
MotPhone		ドメイン	はい	許可	いいえ
MotPhone		パブリック	はい	許可	いいえ
MOTPhone-POP		ドメイン	はい	許可	いいえ
MOTPhone-POP		プライベート	はい	許可	いいえ
MOTPhone-POP		パブリック	はい	プロ...	いいえ
Skype		すべて	はい	許可	いいえ
Teamviewer Remote Control Applica...		プライベート	はい	許可	いいえ

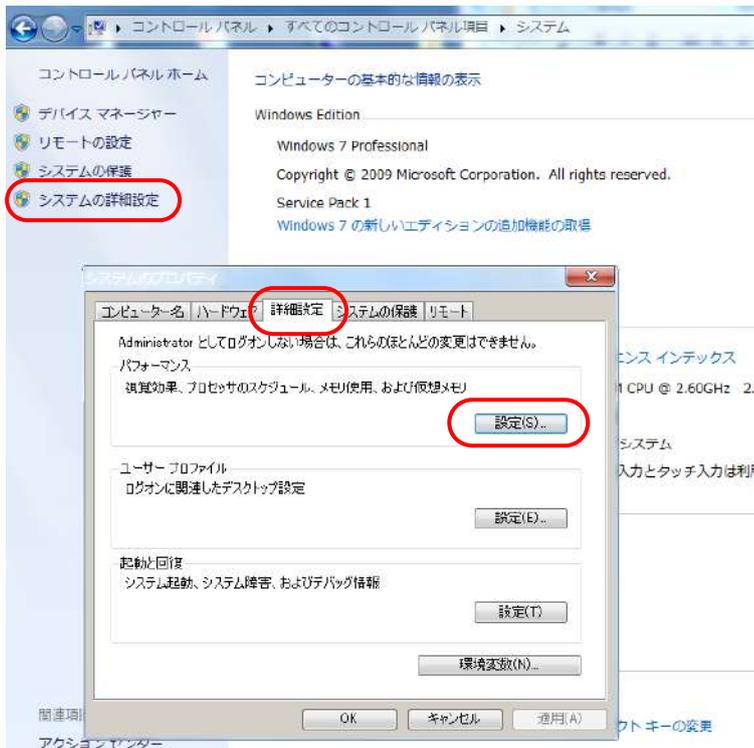
5-22. 正常に動作しない場合に Windows のデータ実行防止を設定する。

■概要

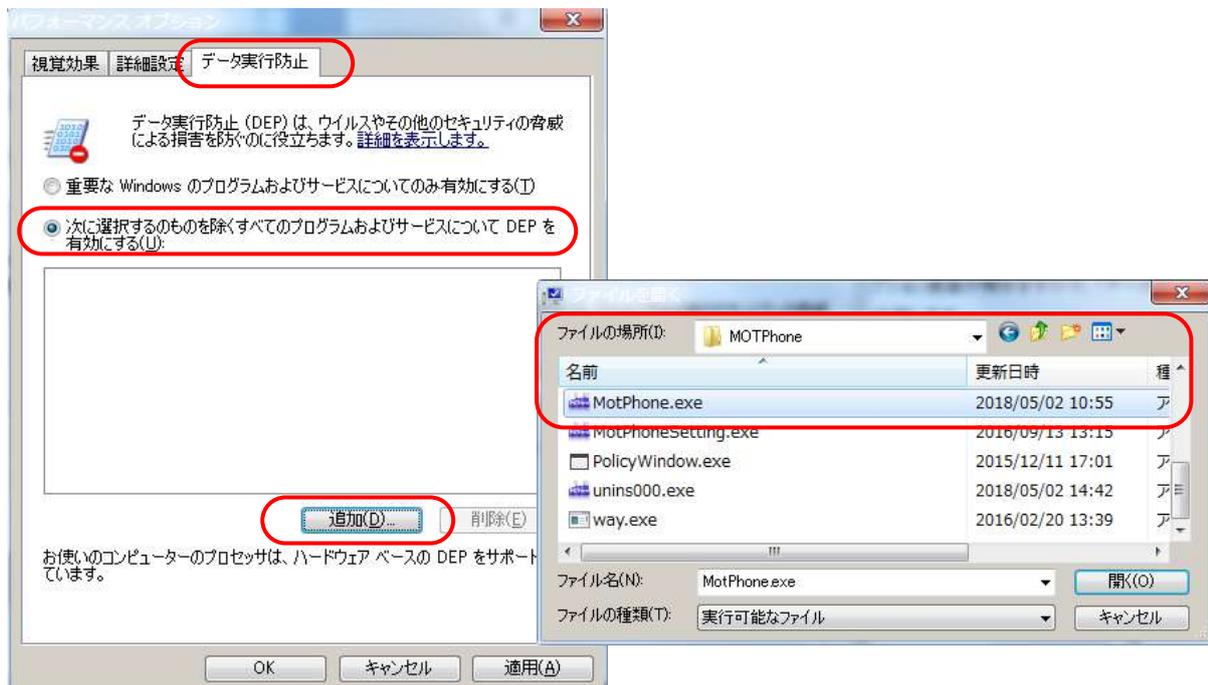
MOT/Phone が頻繁なアプリケーション異常や落ちる問題が発生する際には、Windows のデータ実行防止を行う事で問題が解消する場合がございます。

■設定方法概要

- ① コントロールパネルの「システム詳細設定」からシステムのプロパティを開きます。
- ② 「詳細設定」タブからパフォーマンスの設定ボタンを押します。



- ③ パフォーマンスオプション画面が開きますので、「データ実行防止」タブを選択し、次に選択する～にチェックを付け「追加ボタン」を押します。表示されたウィンドウから MOTPhone.exe を選択します。
インストール先例) C:\Program Files (x86)\Mot\MOTPhone\MotPhone.exe を選択



6. 外部アプリケーションとの連携方法

■概要

MOT/Phone Windows では、以下の動作を外部アプリケーションから制御できます。

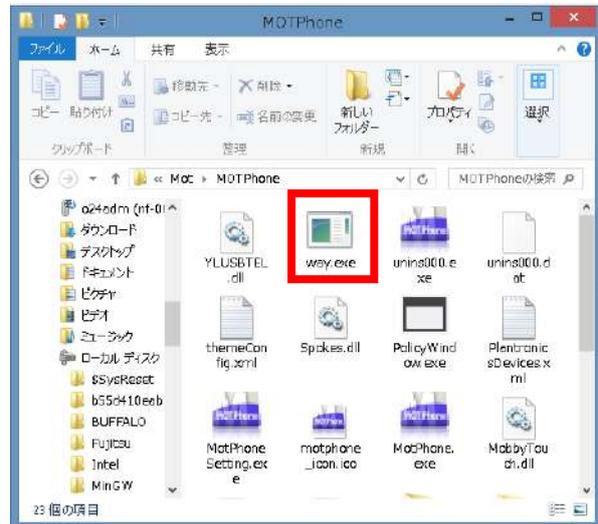
- ・指定した電話番号への発信、及び短縮番号の利用
- ・通話切断
- ・通話の保留・保留解除

■使用方法

MOT/Phone 実行ファイルと同ディレクトリにある

「way.exe」というファイルを

引数付きで呼び出します。



引数によって、以下の操作が可能です。

- ・**callto:番号** ... 指定した番号への発信
短縮番号による呼出
- ・**callto:onfook** ... 通話切断
通話中ステータスの場合に切断
- ・**callto:reserve** ... 保留・保留解除
保留ステータスの場合に、解除
通話ステータスの場合に、保留ステータス

※使用例

C:¥Program Files (x86)¥Mot¥MOTPhone¥way.exe callto:reserve

7. 右クリック呼出機能の利用方法

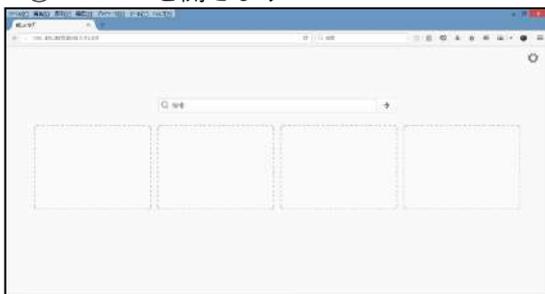
■概要

Internet Explorer, Firefox, Google Chrome にアドオンをインストールすることで、Web サイト上の電話番号を選択し、右クリックすることで指定した番号に発信することができます。

7-1. ブラウザ毎のインストール方法

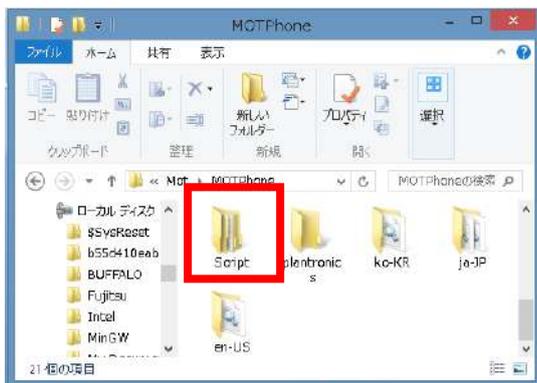
■Firefox の場合

- ① Firefox を開きます

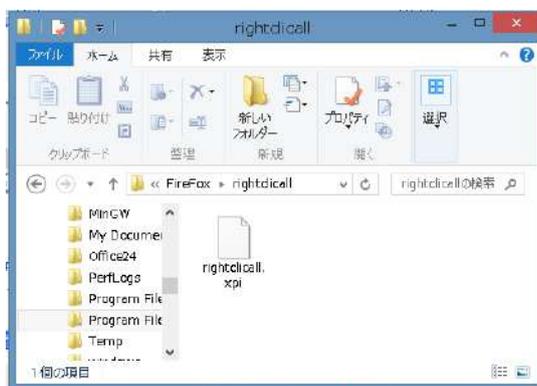


- ② MOT/Phone をインストールしたディレクトリを開きます

(例：C:\Program Files\Mot\MOTPhone\)

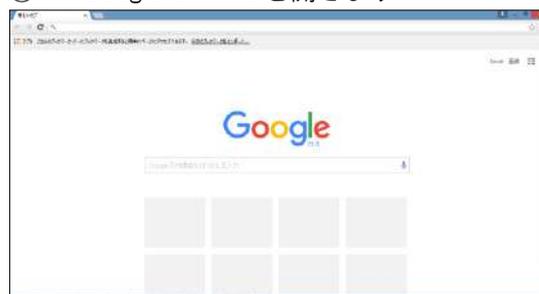


- ③ ②で開いたディレクトリから、「Script」→「Firefox」→「rightlicall」→「RightCliCallFirefox.xpi」とフォルダを開きます。



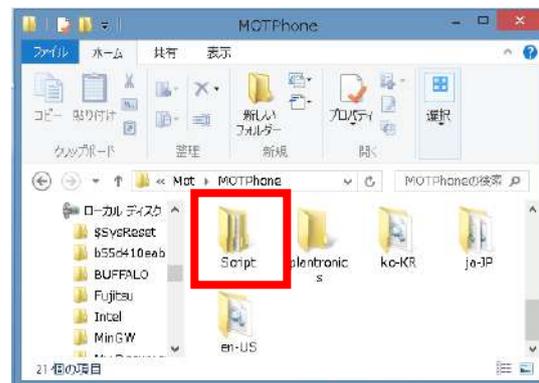
■Google Chrome の場合

- ① Google Chrome を開きます

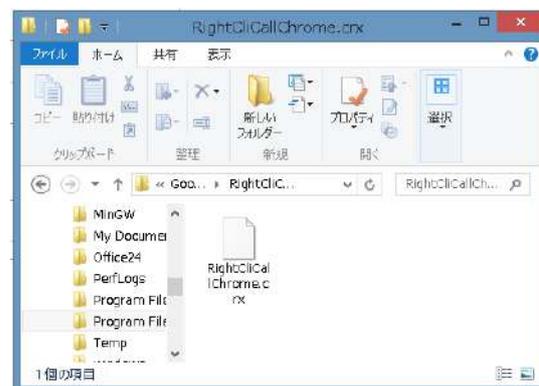


- ② MOT/Phone をインストールしたディレクトリを開きます

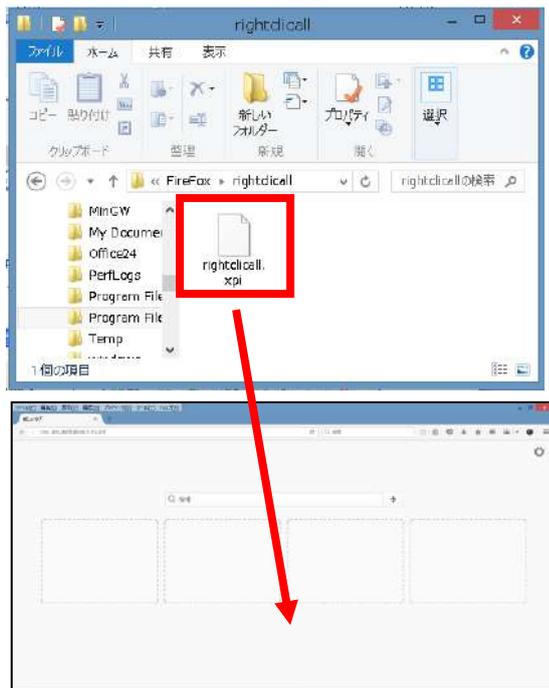
(例：C:\Program Files\Mot\MOTPhone\)



- ③ ②で開いたディレクトリから、「Script」→「Google Chrome」→「RightCliCallChrome.crx」とフォルダを開きます。



- ④ 中にある「RightCliCallFirefox.xpi」を Firefox の画面上にドラッグ&ドロップします。



- ⑤ 「ソフトウェアのインストール」ウィンドウが表示されますので、「今すぐインストール」を押下します。



- ⑥ Firefox 再起動後、インストールが完了します

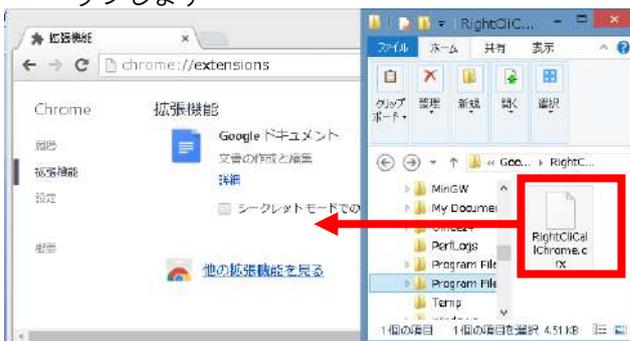
- ④ Google Chrome の設定画面を開きます



- ⑤ 設定画面から「拡張機能」を選択し、拡張機能管理画面を開きます



- ⑥ 先ほど開いたフォルダの中にある「RightCliCallChrome.crx」を Google Chrome の拡張機能管理画面上にドラッグ&ドロップします



- ⑦ 「新しい拡張機能の確認」ウィンドウが表示されますので、「追加」を押下し、インストールが完了します。



7-2. 右クリック発信の利用方法

※ Internet Explorer をご利用の場合は、インストール作業を行う必要はございません

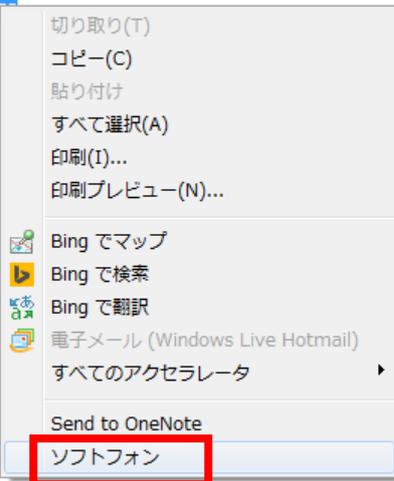
① ウェブブラウザ上の発信したい番号を、左クリック&ドラッグで選択します

▶ ○○株式会社 (代表) 03-1234-5678

② 選択した部分を右クリックし、「ソフトフォン」を選択すると、MOT/Phone から発信します

■Internet Explorer の場合

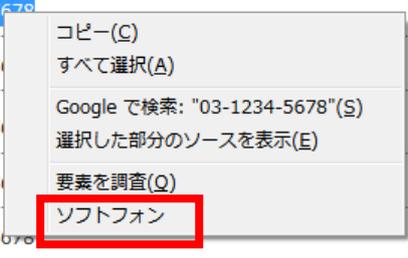
▶ ○○株式会社 (代表)	03-1234-5678
▶ ○○センター	042-234-5678
▶ ○○支店	043-234-5678
▶ 北海道支店	011-234-5678
▶ 東北支店	022-234-5678
▶ 横浜支店	045-234-5678
▶ 名古屋営業所	052-234-5678
▶ 大阪営業所	06-1234-5678
▶ 広島営業所	082-234-5678



- 切り取り(T)
- コピー(C)
- 貼り付け
- すべて選択(A)
- 印刷(I)...
- 印刷プレビュー(N)...
- Bing でマップ
- Bing で検索
- Bing で翻訳
- 電子メール (Windows Live Hotmail)
- すべてのアクセラレータ ▶
- Send to OneNote
- ソフトフォン**

■Firefox の場合

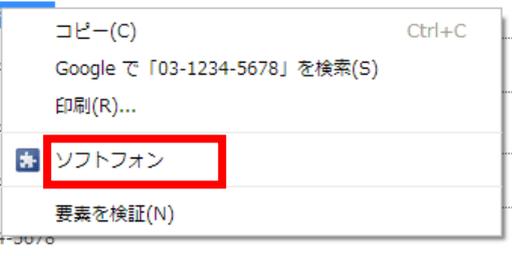
▶ ○○株式会社 (代表)	03-1234-5678
▶ ○○センター	042-234-5678
▶ ○○支店	043-234-5678
▶ 北海道支店	011-234-5678
▶ 東北支店	022-234-5678



- コピー(C)
- すべて選択(A)
- Google で検索: "03-1234-5678" (S)
- 選択した部分のソースを表示(E)
- 要素を調査(Q)
- ソフトフォン**

■Google Chrome の場合

▶ ○○株式会社 (代表)	03-1234-5678
▶ ○○センター	042-234-5678
▶ ○○支店	043-234-5678
▶ 北海道支店	011-234-5678
▶ 東北支店	022-234-5678



- コピー(C) Ctrl+C
- Google で「03-1234-5678」を検索(S)
- 印刷(R)...
- ソフトフォン**
- 要素を検証(N)

※ ハイフンやスペース等は自動的に取り除かれます

8.仕様

■ ソフトフォン推奨動作環境

項目	機能説明
OS	Windows 7(32/64bit)、Windows 8 /8.1(32/64bit)、 Windows 10(32/64bit)
CPU	Intel Pentium4/Core 2 Duo:/Core Solo 1GHz 以上推奨
メモリ	2GB 以上推奨 ※Windows Vista 以降
接続先	MOT/Phone POP-UP 経由の MOT/PBX、MOT/PBX、MOT/TEL サーバへの直接接続
電話端末	Office24 製 VALTEC HCU-205HT (以下、「HCU-205HT」という) Plantronics 製 Calisto P240 (以下、「Calisto P240」という) 旧)Shenzhen HaiDian Technology 製 USB VOIP Phone HCU-201HT (以下、「旧 USB Phone」という) 旧)Yealink 製 USB Phone USB-P8D (以下、「旧 USB Phone」という) その他、PC 側スピーカー、PC 標準の音声デバイスとして動作する端末 ※本製品以外の音声デバイスにおける動作保証出来ません事、ご注意ください。
その他	Microsoft .NET Framework 4.5 以上がインストールされている事。 Visual Studio 2013 Visual C++ 再頒布可能パッケージがインストールされている事。 ※インストールされていない場合は、インストール要求が出力されます。

■ 提供機能

項目名称	機能説明
内線発着信	MOT/PBX、MOT/TEL の設定により、内外線通話が利用できます。
自己保留	一旦通話を保留状態にします。
保留転送	自己保留時に、ダイヤルした番号へ通話転送します。
パーク保留	パーク保留ボタンに通話を保留する事ができます。
音量調整	送受話音量を調整する事が出来ます。 ※事前に Windows 本体の音量とマイクを有効にして通話が聞こえる状態にご調整ください。
発番号選択	発信する際に発番号を選択する事ができます。※対応予定
USB Phone 連携	HCU-205HT Calisto P240 Yealink USB Phone から操作を行う事ができます。

■ USBPhone 仕様

項目名称		機能説明
製造メーカー		Plantronics
名称・型番	機器名	Calisto
	型番	P240
RoHS 対応		RoHS 対応
その他準拠		FCC、CE 対応
表示機能		年月日時刻分曜日を常時表示 「ステータス」、「ダイヤル番号」表示に対応
スピーカー対応		本体ボタン操作による背面スピーカーの利用が可能 集音半径 1.2m 推奨
ミュート機能		本体ボタン操作によるマイクミュートに対応
音量調整		本体ボタン操作による音量の調整が可能
エコキャンセラ		有、ノイズ抑制機能有
着信鳴動音量		鳴動音レベルを変更可能(Windows 音量から変更) ※内外線毎に設定可能
サポートシステム		Vista(32/64)、Windows7(32/64)、Windows8・8.1、Windows10 要ドライバインストール
本体寸法		145mm(L)×47mm(W)×15mm(H)
ケーブルの長さ		1.5m
本体重量		100g

MOT/Phone Windows版 操作・設定ガイド

2018年5月1日 第4.1版

株式会社オフィス24